Dengoyama Initiative

～担い手確保による地域資源の利活用～

2024/3/9(土)
宇川活動報告会
今里ゼミナール

contents

1 はじめに

2 問題の認識 問題の構造化
宇川地域にある問題をKJ法や連関図法などを用いて整理・分析する

3 実態調査とでんご山の価値
でんご山整備の実践活動で解決の糸口を発見する

4 担い手確保に向けたアプローチの特定
先行研究より、地域資源の利活用の担い手を確保するアプローチを模索し、仮説を設定する

5 地域資源ブランディングの有効性の確認
仮説の有効性を確認し、でんご山をブランディングするための方策を検討する

6 社会実験
でんご山ブランディングに向けて社会実験Ⅰ・Ⅱを通して仮説の検証を行う

7 今後の展望と課題
でんご山を含めた宇川地域の地域資源ブランディングの今後の課題と展望について考察する

8 おわりに

1

はじめに

でんご山からの景色

はじめに

- 日本各地で地域資源の管理不全が深刻化
- 今里ゼミがフィールドとする京丹後市宇川地域でも同様に管理不全の地域資源が増加

久僧区大溝水路

「でんご山」での調査・分析・実践活動により、地域資源の利活用に必要な担い手を集める方策について明確化

久僧区の荒廃農地

調査の手法

問題の認識

宇川地域の現地調査
KJ法

現在宇川地域で起こっている問題を現地調査・KJ 法を用いて分析し、研究対象とする問題を認識した。

問題の構造化

連関図法

地域資源が利活用されていない要因を見つけるために、連関図法を用いて問題の構造について分析し、要因を考察した。

現状把握と可能性の認識

でんご山の実態調査、資料調査
ヒアリング、現地調査

宇川地域の里山「でんご山」での実態調査や資料調査、宇川地域の地域資源の調査を行った。

先行研究とアプローチの特定

文献調査・仮説設定

担い手確保のための仮説を設定し、文献調査によりアプローチ方法を特定した。

仮説の有効性検証

域内

半構造化インタビュー

半構造化の方式で宇川地域内の人々にインタビューを行った

域外

CVM的調査

本調査

300人を対象にしたインターネット調査を実施した

プレ調査

本調査を前に調査票の有効性等を確認した

社会実験

社会実験Ⅰ

仮説の検証を目的とした社会実験として、でんご山の山登りイベントを実施した。イベントの前後に、意識変化を測るアンケートを実施し、課題を分析した。

社会実験Ⅱ

社会実験Ⅰの課題を踏まえた社会実験Ⅱを実施した。地域内外双方への働きかけを強化した。

今後の展望と課題

今後のでんご山ブランディングの方策と、宇川地域の地域資源の利活用についての展望 と課題について述べる

KJ法の様子

2

問題の認識
問題の構造化

調査の手法

問題の認識
宇川地域の現地調査
KJ法

問題の構造化
連関図法

現状把握と可能性の認識
でんご山の実態調査
資料調査
ヒアリング
現地調査

先行研究とアプローチの特定
文献調査
仮説設定

仮説の有効性検証
地域内：半構造化インタビュー
地域外：CVM調査

社会実験
社会実験Ⅰ
社会実験Ⅱ

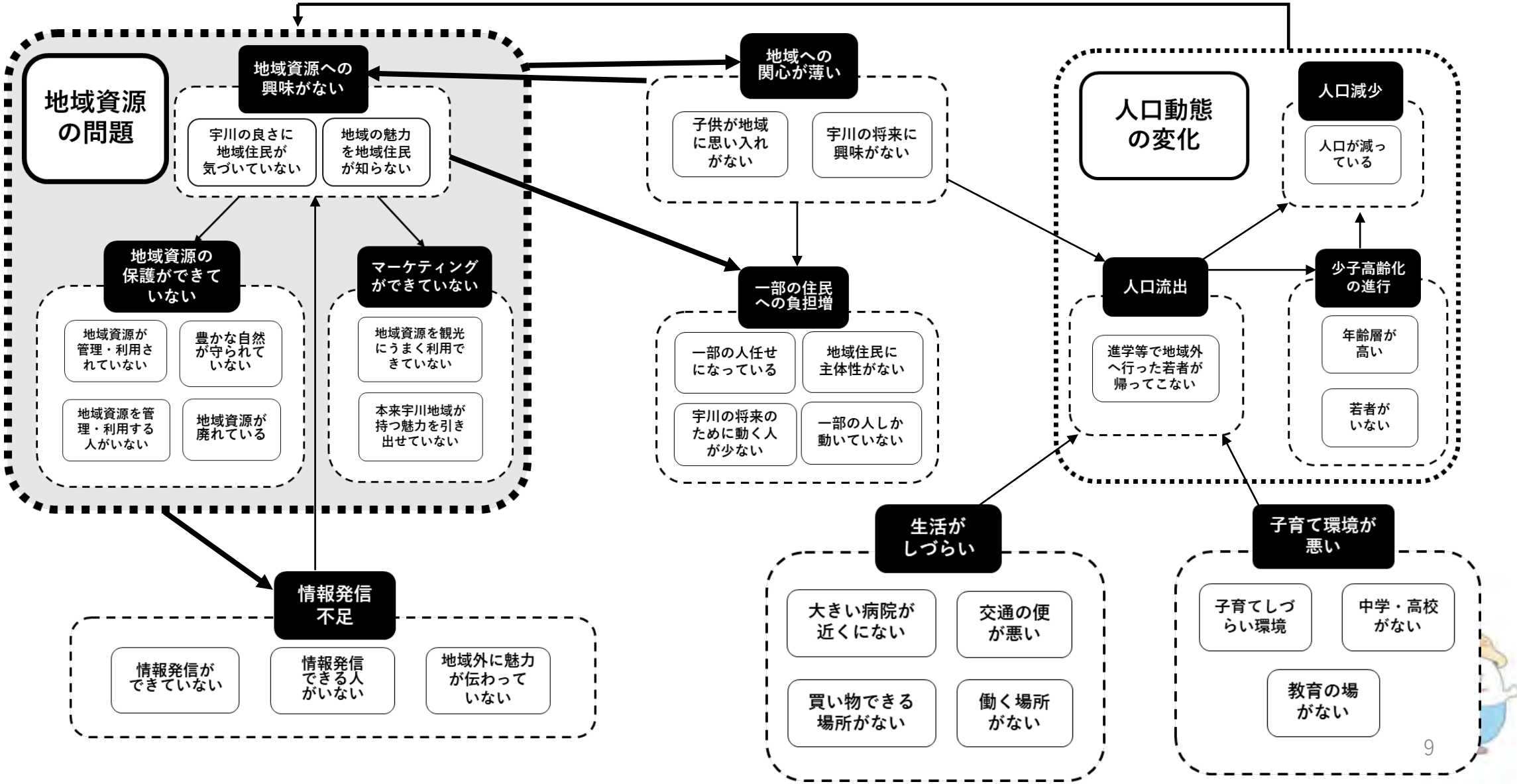
今後の展望と課題

調査の手法

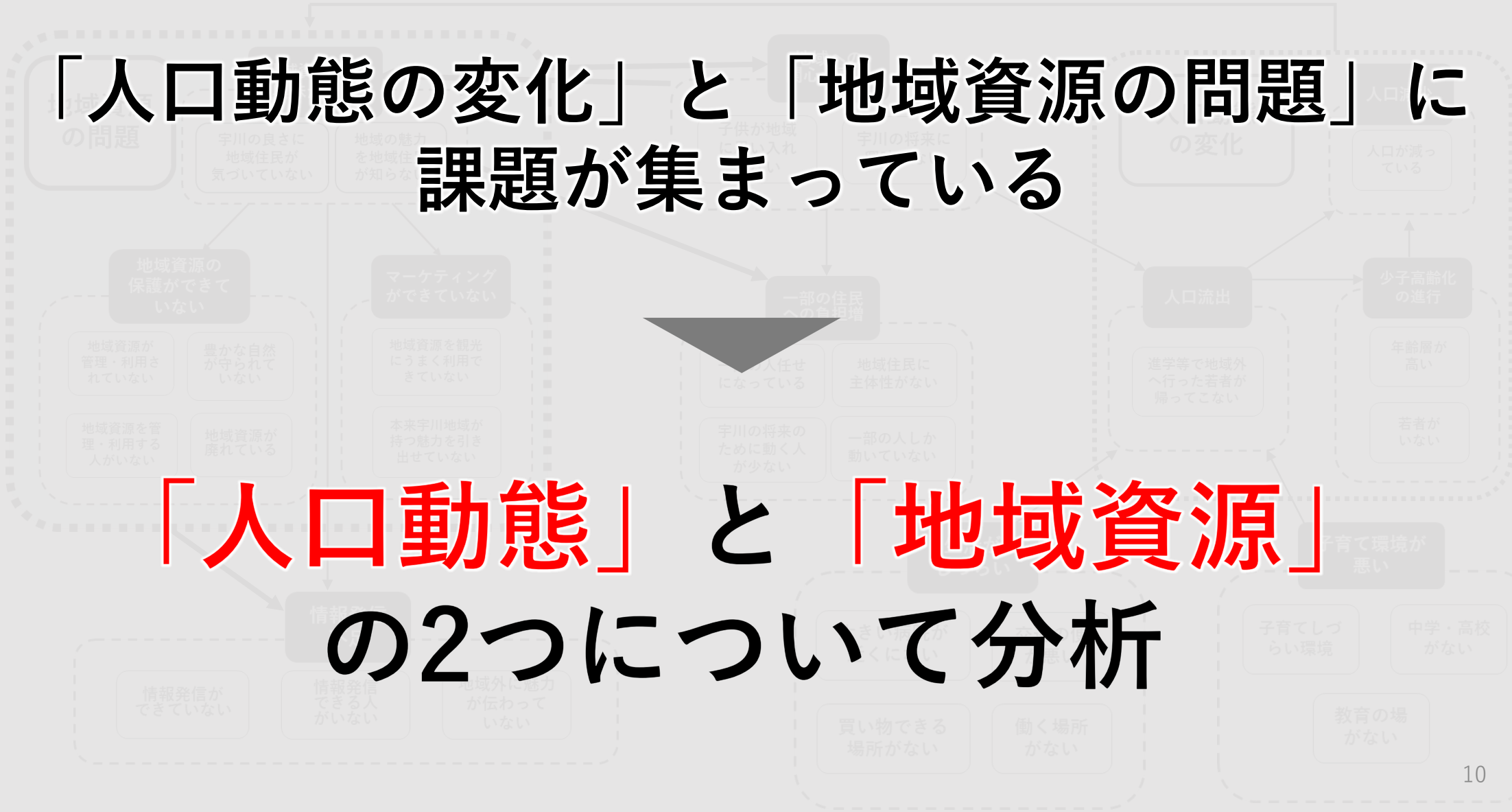
問題の認識	問題の構造化
宇川地域の現地調査 KJ法	連関図法

地域資源が利活用されていない問題を認識し
その要因が担い手不足であることを特定

問題の認識 ~KJ法~


地域資源の問題
地域資源への興味がない
宇川の良さに地域住民が気づいていない
地域の魅力を地域住民が知らない
地域資源の保護ができていない
地域資源が管理・利用されていない
豊かな自然が守られていない
地域資源を管理・利用する人がいない
地域資源が廃れている
マーケティングができていない
地域資源を観光にうまく利用できていない
本来宇川地域が持つ魅力を引き出せていない
情報発信不足
情報発信ができていない
情報発信できる人がいない
地域外に魅力が伝わっていない
地域への関心が薄い
子供が地域に思い入れがない
宇川の将来に興味がない
一部の住民への負担増
一部の人任せになっている
地域住民に主体性がない
宇川の将来のために動く人が少ない
一部の人しか動いていない
人口動態の変化
人口減少
人口が減っている
人口流出
進学等で地域外へ行った若者が帰ってこない
少子高齢化の進行
年齢層が高い
若者がいない
生活がしづらい
大きい病院が近くにない
交通の便が悪い
買い物できる場所がない
働く場所がない
子育て環境が悪い
子育てしづらい環境
中学・高校がない
教育の場がない

問題の認識 ~KJ法「宇川地域を持続可能な地域するための課題とは？」~

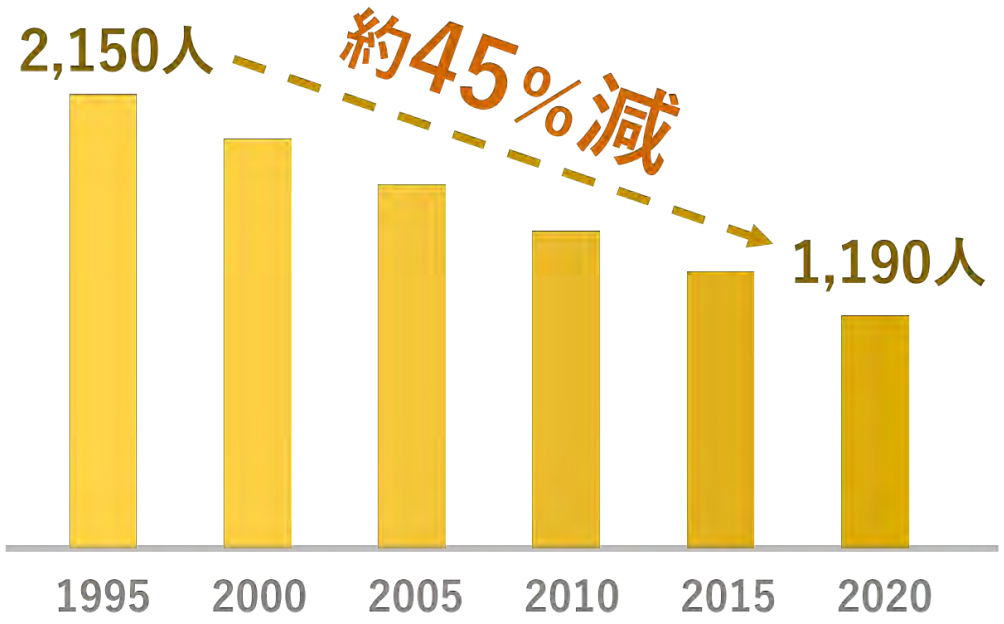


「人口動態の変化」と「地域資源の問題」に課題が集まっている

「人口動態」と「地域資源」の2つについて分析

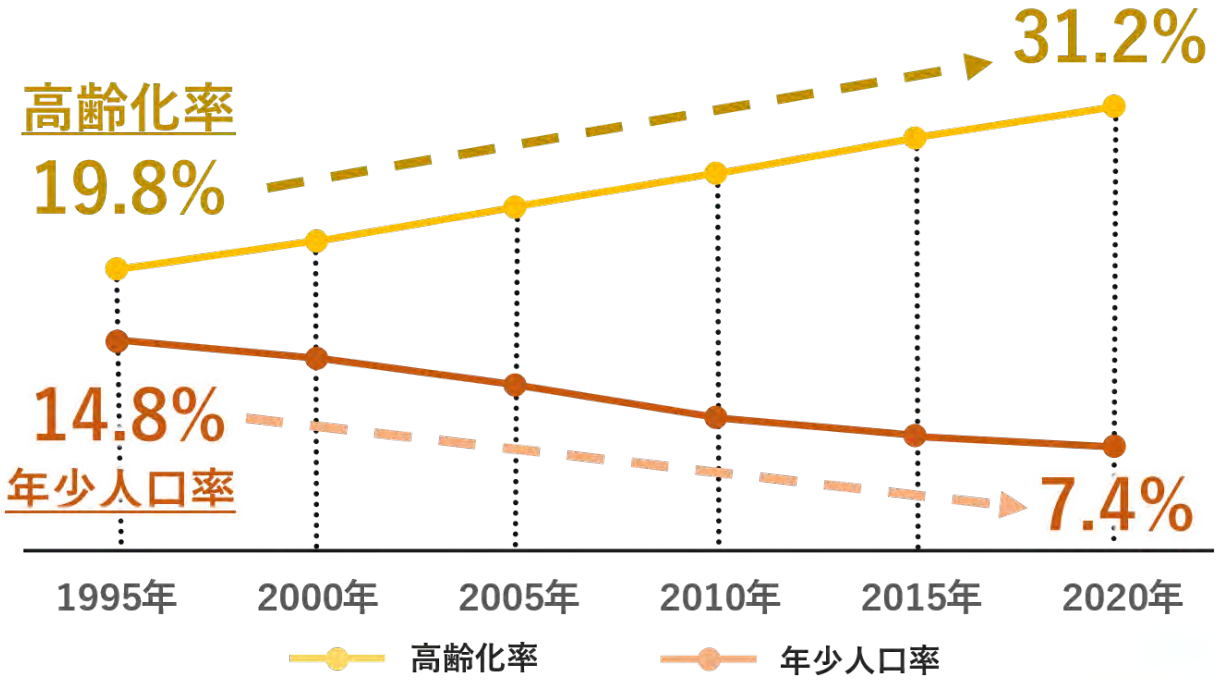
宇川地域の問題 ~人口動態~

① 宇川地域の人口推移



人口減少

② 宇川地域の少子高齢化



少子高齢化

宇川地域の問題 ~地域資源~

地域資源

・・・「地域内に存在する資源であり、地域内の人間活動に利用可能な（あるいは利用されている）有形、無形のあらゆる要素」

（環境省,2015）

宇川地域の問題 ~地域資源~

海水浴場

中浜区・上野区
平区・久僧区

中浜海水浴場

袖志の棚田

袖志区

袖志の棚田

宇川温泉

久僧区

宇川温泉 よし野の里

経が岬灯台

袖志区

経ヶ岬灯台

地域資源が利活用されていない

宇川地域の問題 ~地域資源~

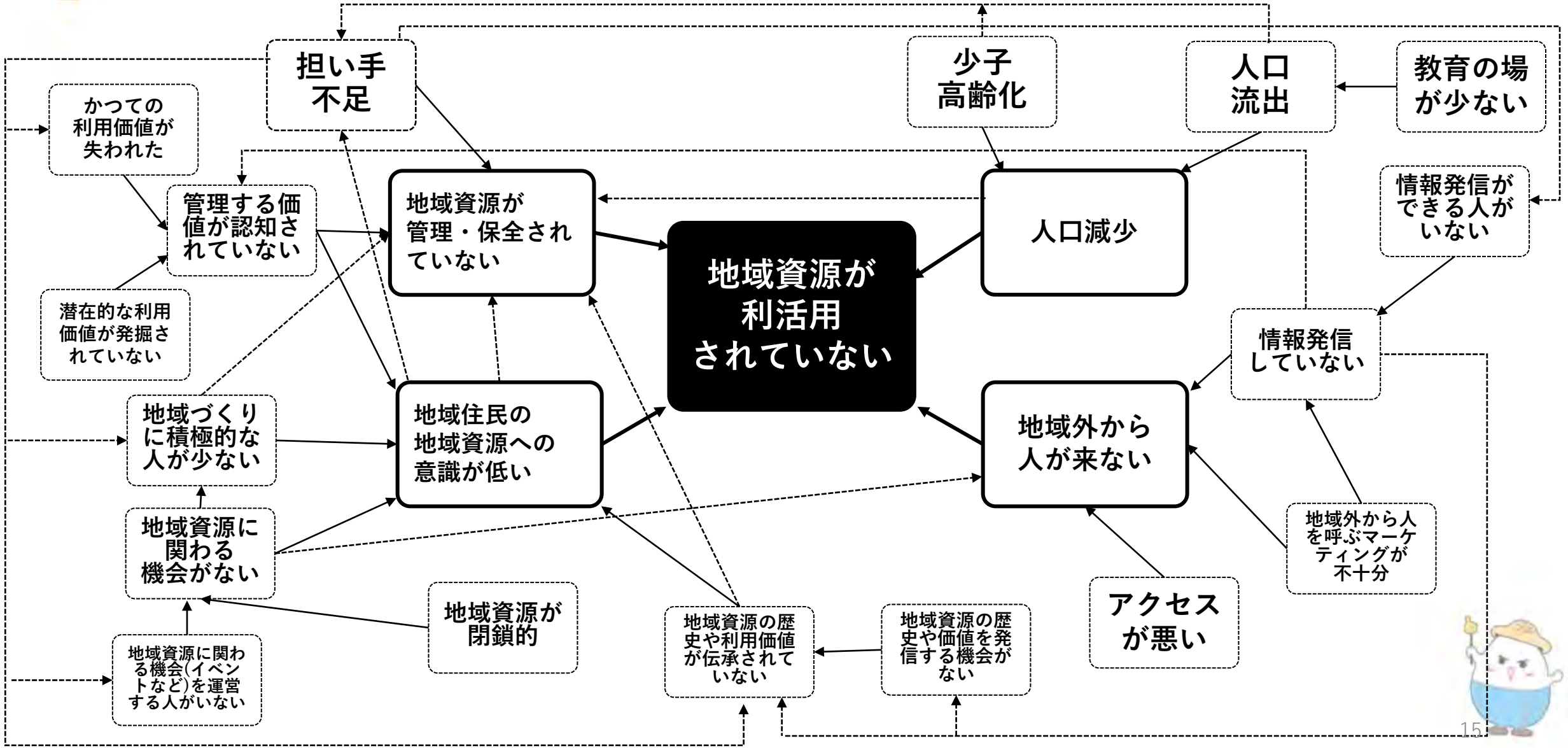
地域資源が利活用されていない

地域資源の利活用の仕組みを作ることは、
農村で人口動態の問題が進む現代に順応する
持続的な農村発展につながる

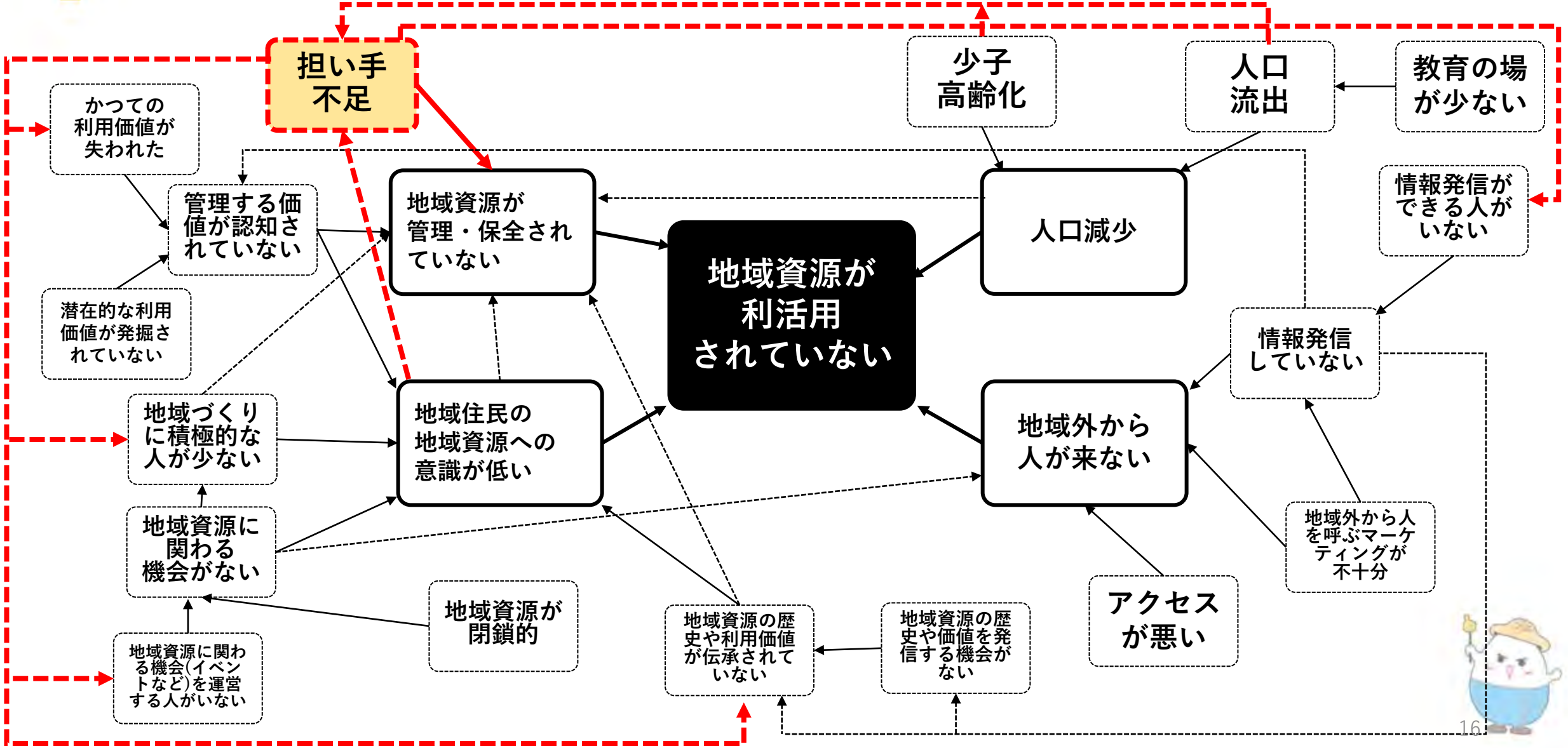
（中島 2022）

連関図法を用いて要因分析

問題の構造化 ~連関図法「地域資源が利活用されていない要因は？」~

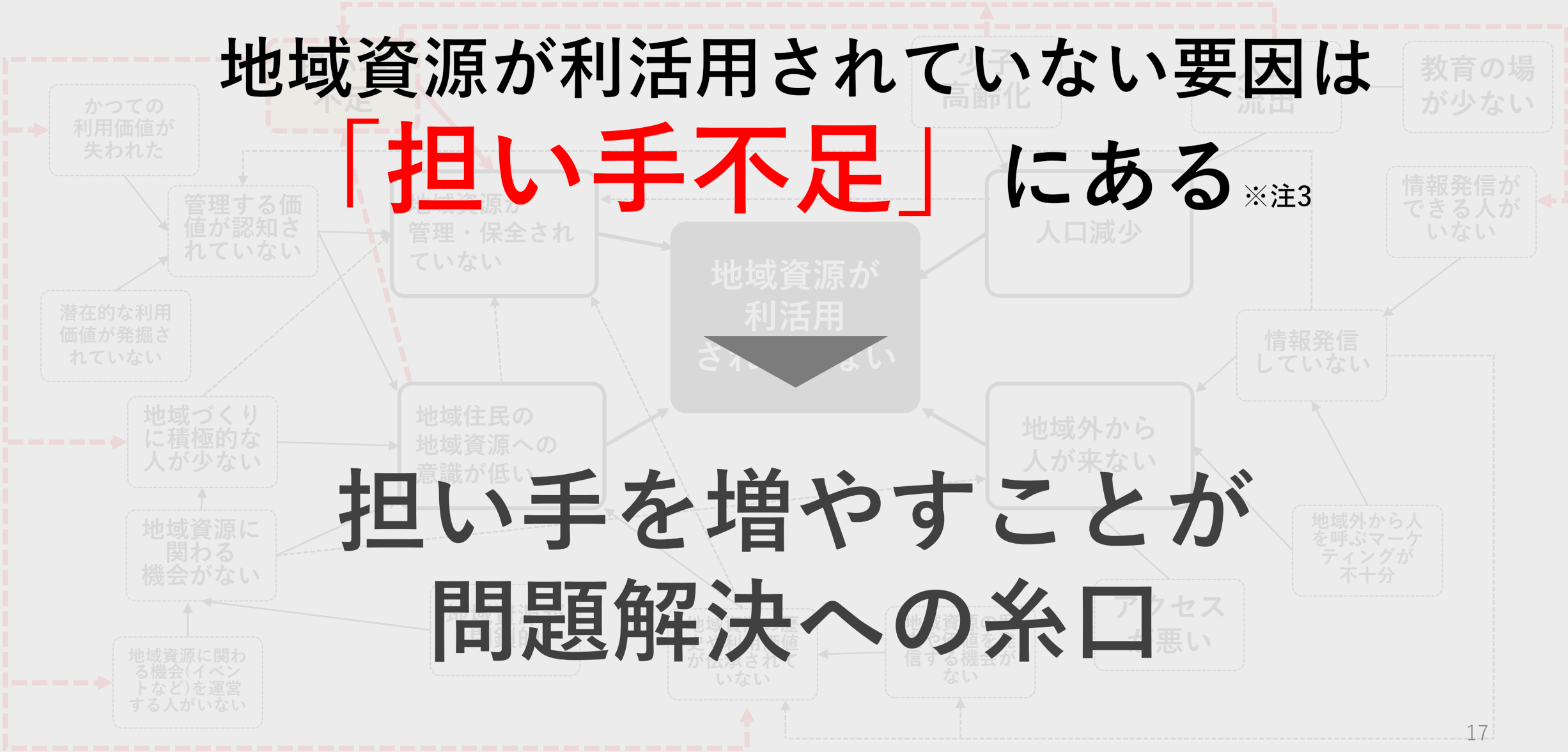


問題の構造化 ~連関図法「地域資源が利活用されていない要因は？」~



問題の構造化 ~連関図法「地域資源が利活用されていない要因は？」~

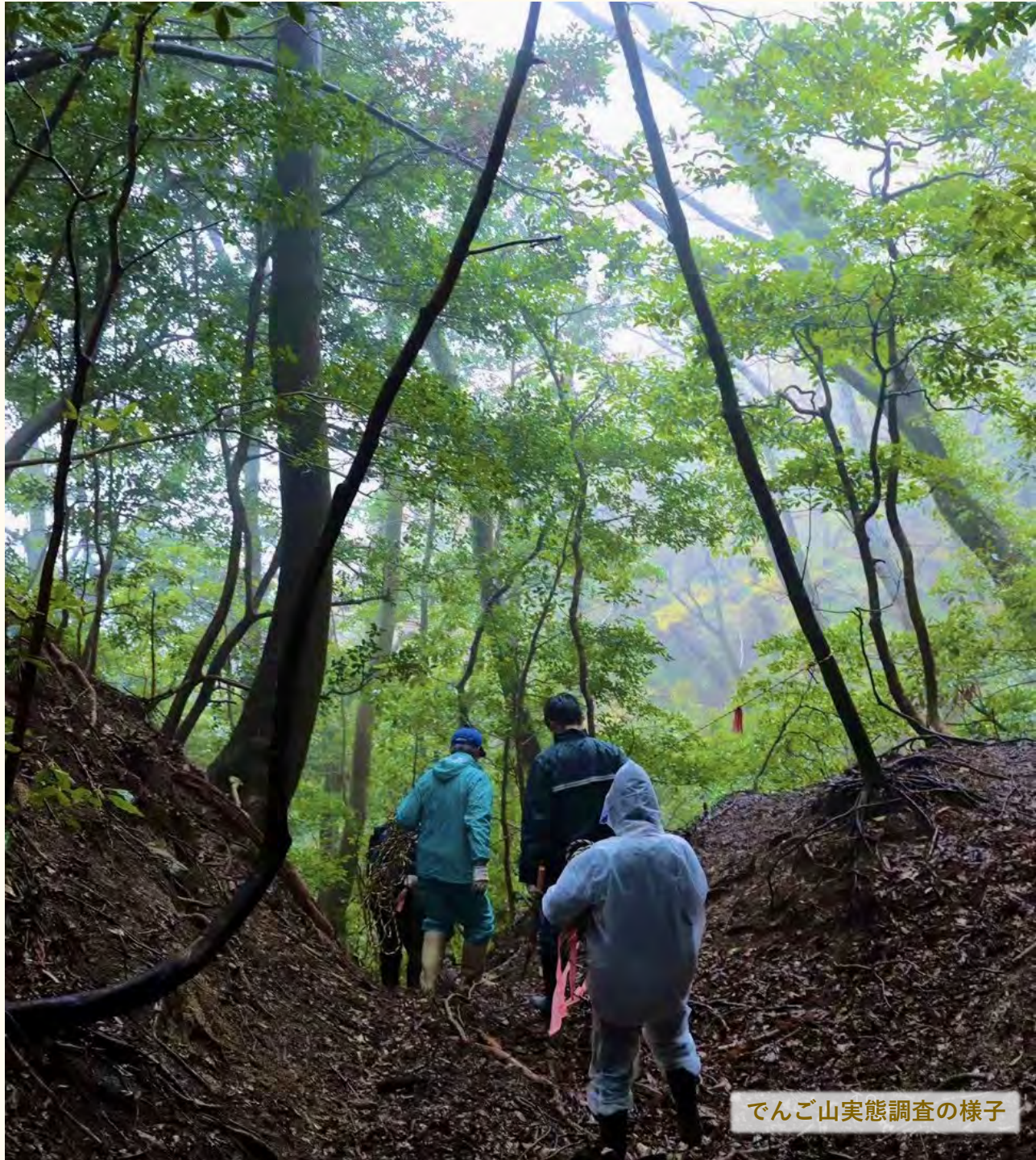
地域資源が利活用されていない要因は「担い手不足」にある※注3



担い手を増やすことが問題解決への糸口

3

実態調査と
でんご山の価値



でんご山実態調査の様子

調査の手法

問題の認識
宇川地域の現地調査
KJ法

問題の構造化
連関図法

現状把握と可能性の認識
でんご山の実態調査
資料調査
ヒアリング
現地調査

先行研究とアプローチの特定
文献調査
仮説設定

仮説の有効性検証
地域内：半構造化インタビュー
地域外：CVM調査

社会実験
社会実験Ⅰ
社会実験Ⅱ

今後の展望と課題

調査の手法

現状把握と
可能性の認識

でんご山の実態調査
資料調査
ヒアリング
現地調査

でんご山の価値を
知ることが
担い手への第一歩

実態調査　~10回のでんご山整備~

No.	日付	参加者	内容
1	2022/10/28(金)	宇川住民2名、学生9名	「でんご山」散策、「でんご山」の歴史のレクチャー
2	2023/3/24(金)	宇川住民1名、学生4名	山道整備（道しるべ）
3	2023/4/8(土)	宇川住民2名、学生12名	大溝水路の掃除
4	2023/5/20(土)	宇川住民2名、 宇川地域関係者1名、学生6名	山道の整備
5	2023/6/10(土)	宇川住民2名、学生10名、教員1名	山道の整備
6	2023/7/16(日)	宇川住民2名、 宇川地域関係者1名、学生20名	山道の整備（階段作製、頂上付近の木の伐採）
7	2023/8/13(日)	宇川住民2名、学生23名、教員1名	山道の整備（階段作製、頂上付近の木の伐採）
8	2023/8/28(月)	宇川住民2名、宇川地域関係者1名、 学生4名	山道整備、入り口のアーケード作成、中間地点の木の伐採
9	2023/9/9(土)	宇川住民8名(大人1名、子ども7人)、 学生15名	里山学習、看板作成(でんご山看板)
10	2023/9/25(月)	宇川住民2人、宇川地域関係者1名、学生4人	山道整備（階段作製、手すり用ロープ付け、頂上の木の伐採）

でんご山について

高度経済成長期以前

●燃料の採集　●他集落への通路
●子どもの遊び場
等で利活用

木材から化石燃料への転換
輸入木材への使用拡大
人口動態の変化

でんご山を
利活用する人の減少 → **山の荒廃**
獣害被害　etc...

でんご山

既存の価値の発見 ~でんご山の3つの価値発掘~

江戸時代のでんご山の古道

歴史的価値

昭和30年代まで久僧区の生活で利活用されていた。
もとはでんご山の麓に久僧区の集落があった。

水路掃除の様子

機能的価値

①水路・水路供給
②獣害の抑制
③生物多様性の保全
④景観　⑤伝統的生活文化
⑥環境教育、自然体験の場
など

でんご山から見える景色

景観的価値

でんご山が頻繁に利活用されている時代は山のどこからでも美しい宇川の景観が見えた。
現在は少しずつ景観を取り戻しつつある

でんご山の新しい価値 ~でんご山周辺一帯での体験型観光へ~

これまでの宇川地域では観光客は
観光を楽しむのみで地域づくりの
担い手にはならず

体験型観光等を通して地域に特別な想いをもつ
地域外の人々が担い手になるケースが
注目されている

（嵩 2022; 安福 2016）

でんご山の新しい価値 ~でんご山周辺一帯での体験型観光へ~

でんご山での**山登り体験**や
周辺の田んぼでの**田植え体験**
などの体験が可能

田植え体験の様子

でんご山が
体験型観光の拠点となる可能性

新しい「価値」を実現する担い手の創出

① 今里ゼミの意識の変化

ゼミ生のでんご山整備活動の様子

計10回の調査を重ねるにつれて
整備の楽しさと山の価値を実感

ゼミ生のでんご山整備活動の様子

新しい「価値」を実現する担い手の創出

② 久僧区民の意識の変化

戸根氏

でんご山の歴史を知り、実際にでんご山を歩くことで山の再生が必要と感じた

（戸根氏 半構造化インタビューより）

塩谷氏

戸根氏や学生より誘われ整備に入ったが、整備を重ねるにつれ、でんご山が交流の場になりえると可能性を感じ、積極的に整備を始めた

（塩谷氏 半構造化インタビューより）

でんご山の既存の価値の認識

＋

新しい価値の発見

山の価値に気づくことで
担い手になるのではないか？

今里ゼミ研究風景

4

担い手確保に向けたアプローチの特定

調査の手法

問題の認識
宇川地域の現地調査
KJ法

問題の構造化
連関図法

現状把握と可能性の認識
でんご山の実態調査
資料調査
ヒアリング
現地調査

先行研究とアプローチの特定
文献調査
仮説設定

仮説の有効性検証
地域内：半構造化インタビュー
地域外：CVM調査

社会実験
社会実験Ⅰ
社会実験Ⅱ

今後の展望と課題

調査の手法

先行研究と
アプローチの特定

文献調査
仮説設定

マーケティングの手法で
地域資源ブランディングを
行うことで担い手を
確保することができる

地域資源ブランディングを重ねて地域全体のブランド形成

地域ブランド

・・・「地域に対する消費者からの評価」であり、
「地域が有する無形資産のひとつ」

（中小企業基盤整備機構,2005）

地域全体のブランド

予算や継続性の限界のため根本的な困難を抱えており、一朝一夕に実現することは難しい

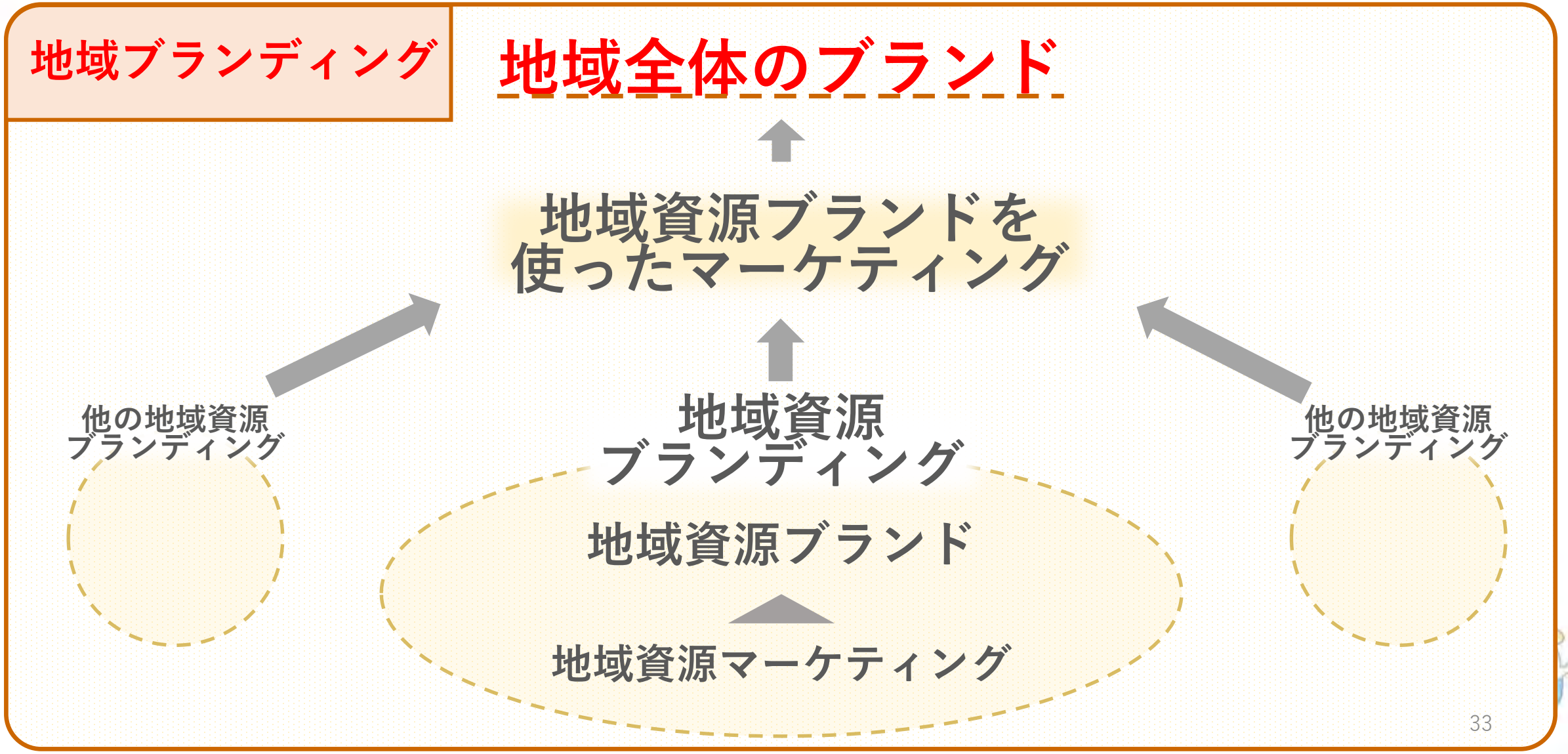
（岩永,2020）

地域資源ブランド

事業者を主体とする地域産品のマーケティング活動が起点となって、持続的に地域ブランドの価値を高めていける可能性がある

（岩永,2020）

地域資源ブランディングを重ねて地域全体のブランド形成



地域資源ブランディング

地域マーケティング

・・・何らかの目的のために地域を選択する人々や組織に対して、他の地域ではなく、自身の地域を選択してもらうための活動、あるいは標的とする相手の望む地域価値を創造し伝えていく活動

（佐々木,2022）

地域資源マーケティング ~「知識」と「経験」がもたらす価値の向上~

地域資源ブランドはどのように価値を
高められるのかをついて考察する

①「知識」

地域資源ブランドは人々のマインドの中に存在

コミュニケーション
商品との接触経験　etc...

→

「想起要素」の蓄積
＝「知識」

・・・商品選択の過程で想起され、
購買意向、価値評価などの
態度・指向が喚起される

（岩永 2020）

地域資源マーケティング ~「知識」と「経験」がもたらす価値の向上~

②「経験」

「人があるモノに対して他と差異を感じない場合に
経験価値の存在が重要になる」

（石原,2022）

経験価値 ・・・ 出会い、経験、様々な状況下で
生活してきたことの結果として生まれ、
感覚、感情、精神への刺激によって引き起こされるもの

②「経験」

ブランドの価値を高めるには
「知識」と「経験」が重要であり、
これらを人々に与えるアプローチが必要

経験価値 ・・・ 出会い、経験、様々な状況下で
生活してきたことの結果として生まれ、
感覚、感情、精神への刺激によって引き起こされるもの

地域資源マーケティング　~対象の区別~

- 地域資源と地域イメージのブランド化を結びつけて好循環を生み出し、地域外の資金・人材を呼び込み持続的な地域資源の活性化を図るために、**地域外に向けたアプローチ**が必要である

（北海道知的財産戦略本部,2023）

- ブランディングを進めていくには、**地元住民の協力を得ること**も不可欠である

（石原,2022）

地域内外のそれぞれで
地域資源ブランディングが必要

地域資源マーケティング　~対象の区別~

① 地域内に向けてのブランディング

インターナル・ブランディング

・・・地域社会の構成員が地域資源の価値を十分に
理解するためのフレームワークを形成する営み

- 地域内の人の「知識」を深め、さらに「経験」
- してもらうことで、地域資源の価値を高めることができる。

地域資源マーケティング　~対象の区別~

② 地域外に向けてのブランディング

ターゲットの明確化が必要

（石井・坪井,2022）

「地方援助層」

共同性志向が高く都市から地方への再配分を求める人
（＝地方に協力的）

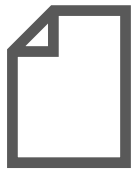
（岩永,2020）

マスメディアやSNSで情報収集する傾向を持つ

AISASから見える担い手の確保への道筋

地域資源マーケティングによって価値を高め、担い手を確保するための
アプローチを考える上で**消費者行動モデル「AISAS」**を参考にする。

Attention
（認知）



チラシやSNS
の広報で活動
の存在を知る

Interest
（興味）

チラシ/SNS/HP
を見て活動に参
加してみたいと
思う

Search
（検索）

地域資源や
宇川地域の
ことを調べる

Action
（行動）

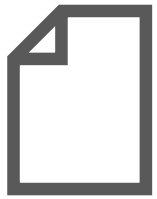
活動に
参加する

Share
（共有）

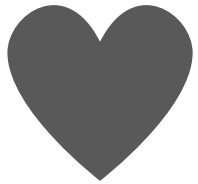
活動に
参加したことを
SNSで共有する

消費者行動モデルAISASから見える担い手への道筋

Attention（認知）



Interest（興味）



Search（検索）

Action（行動）

Share（共有）

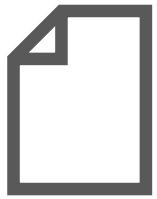
「Action」の段階から地域資源の
「担い手」となる参加者もいる

・・・

担い手

AISASを用いたでんご山のブランディング

Attention（認知）



チラシや
SNS 等の
広報

Interest（興味）

チラシ/SNS
等の広報を
見て活動に
参加して
みたいと思う

Search（検索）

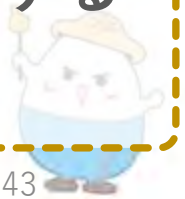
でんご山や
宇川地域の
ことをHP
で調べる

Action（行動）

でんご山で
のイベント
に参加する

Share（共有）

イベントに
参加した
ことをSNS
で共有する



仮説

マーケティングの手法で
地域資源ブランディングを
行うことで担い手を
確保することができる

5

地域資源ブランディング の有効性の確認

半構造化インタビューの様子

調査の手法

問題の認識
宇川地域の現地調査
KJ法

問題の構造化
連関図法

現状把握と可能性の認識
でんご山の実態調査
資料調査
ヒアリング
現地調査

先行研究とアプローチの特定
文献調査
仮説設定

仮説の有効性検証
地域内：半構造化インタビュー
地域外：CVM調査

社会実験
社会実験Ⅰ
社会実験Ⅱ

今後の展望と課題

調査の手法

仮説の有効性検証

地域内：半構造化インタビュー

地域外：CVM調査

仮説の有効性の確認のため、地域内外の調査から導かれる
でんご山をブランディングするための方策を検討

宇川地域内に向けたアプローチ ~半構造化インタビュー~

「半構造化インタビュー」

・・・項目化された質問とオープンな質問からなる
調査手法

（片野,2012）

でんご山や宇川地域に対する思いや
整備に対する行動意思を抽出

宇川地域内に向けたアプローチ ~半構造化インタビュー~

インタビュー協力者　一覧

●でんご山をよく知る久僧区の人

・戸根嘉郎さん(久僧区住民、でんご山整備協力者、下宇川公民館館長、今里田提供者兼管理者)
・吉本宏雄さん(久僧区住民、久僧の山史録編者)
・塩谷正敏さん(久僧区住民、でんご山整備協力者)

●でんご山をよく知る宇川地域外の人

・奥口陽登さん(京丹後市丹後町住民、農村RMO事務局長、でんご山整備協力者)

●でんご山をよく知らない宇川の人

・山口洋子さん(袖志区住民、宇川加工所代表、キッチン高嶋代表)
・小林文博さん(上野区住民、宇川連携協議会生活支援部会、わくわく教室運営者)
・小倉麗子さん(平区住民、宇川連携協議会地域資源部会、宇川加工所メンバー)

●でんご山をよく知らない宇川の移住者

・田嶋友幸さん(平区住民、地域おこし協力隊(移住者))

計８人

宇川地域内に向けたアプローチ ~半構造化インタビュー~

半構造化インタビューの結果(1)

設問	回答内容	
	でんご山をよく知る人	でんご山をよく知らない人
① でんご山はどのようなところか	• 農作物をする上での水を引く山 • 地域の高齢の方には思い出のある場所 • 昔の子供たちの遊び場 • 京丹後にある薪炭林	• 今里ゼミが活動している山 • 知らない • 戸根さんが活動の中心になっている山 • 久僧区（他の地区）の土地
② でんご山の情報を聞いて、でんご山に価値があると思うか？ （でんご山を知らない人対象）		• 整備されたら価値があると思う • 宇川温泉と絡めればスポットとなり価値になると思う • 価値があると思うが、宇川では当たり前 • 宇川の特徴として打ち出す価値はあると思う（移住者）
③ でんご山はなぜ整備されていないと考えるか	• 需要がなくなったから • 高度経済成長によって山の価値が失われたから • 里山がお金にならなくなったから • 短絡的な見方をする人が増えたから	• 人がいない（若者がいない・手が回っていない） • お金にならない • 里山から得られるものがなくなっ

宇川地域内に向けたアプローチ ~インタビューの結果~

半構造化インタビューの結果(2)

設問	回答内容	
	でんご山をよく知る人	でんご山をよく知らない人
④ でんご山を整備する必要があるのか	• 獣害対策のために必要ある • 農作物のために水路の整備が必要ある • 人を呼んで使ってもらうには大いにある	• 必要あると思うが、まずは生活優先 • 少子高齢化が進む中で、維持管理を誰がするのか • 必要あるが、身体的な面も含めて厳しい
⑤ でんご山の整備に参加したいか	• 農作物をする上での水を引く山 • 地域の高齢の方には思い出のある場所 • 昔の子供たちの遊び場 • 京丹後にある薪炭林	• 今里ゼミが活動している山 • 知らない • 戸根さんが活動の中心になっている山 • 久僧区（他の地区）の土地
⑥ どうしたら参加してもらえるか	• 需要がなくなったから • 高度経済成長によって山の価値が失われたから • 里山がお金にならなくなったから • 短絡的な見方をする人が増えたから	• 人がいない（若者がいない・手が回っていない） • お金にならない • 里山から得られるものがなくなっ
⑦ 回答者が望む宇川地域の理想像とは	• 獣害対策のために必要ある • 農作物のために水路の整備が必要ある • 人を呼んで使ってもらうには大いにある	• 必要あると思うが、まずは生活優先 • 少子高齢化が進む中で、維持管理を誰がするのか • 必要あるが、身体的な面も含めて厳しい

宇川地域内に向けたアプローチ ~半構造化インタビュー~

半構造化インタビューの結果まとめ

でんご山をよく知る人	・でんご山に価値を感じている ・整備に意欲的	積極的
でんご山をよく知らない人	・でんご山は久僧区(他の集落)の土地 ・整備されたら価値があると思う ・少子高齢化が進み、整備されたとしても継続して維持管理はどうするのか	消極的

でんご山の「知識」の有無が
「地域資源としての価値」や「整備の必要性の認識」を左右する

宇川地域外に向けたアプローチ ~CVM的調査~

仮想的市場評価法（CVM調査）

・・・アンケート調査を用いてモニターに支払意思額等を
質問することで、市場で取引されていない財(効果)の価値を
計測する手法である

「地域資源の価値」が
情報によって高まるかを検証

宇川地域外に向けたアプローチ ~CVM的調査~

プレ調査

- 調査における設問や金額設定の問題を確認
- LINEオープンチャットを利用して実施

回答者が情報を知ることによっての参加意欲の有無や「地方援助層」を分析する設問の欠落を確認　→修正

本調査

- 株式会社マーケティングアプリケーションズの
  セルフ型ネットリサーチツールを利用して実施

宇川地域外に向けたアプローチ ~CVM的調査~

CVM的調査 本調査概要

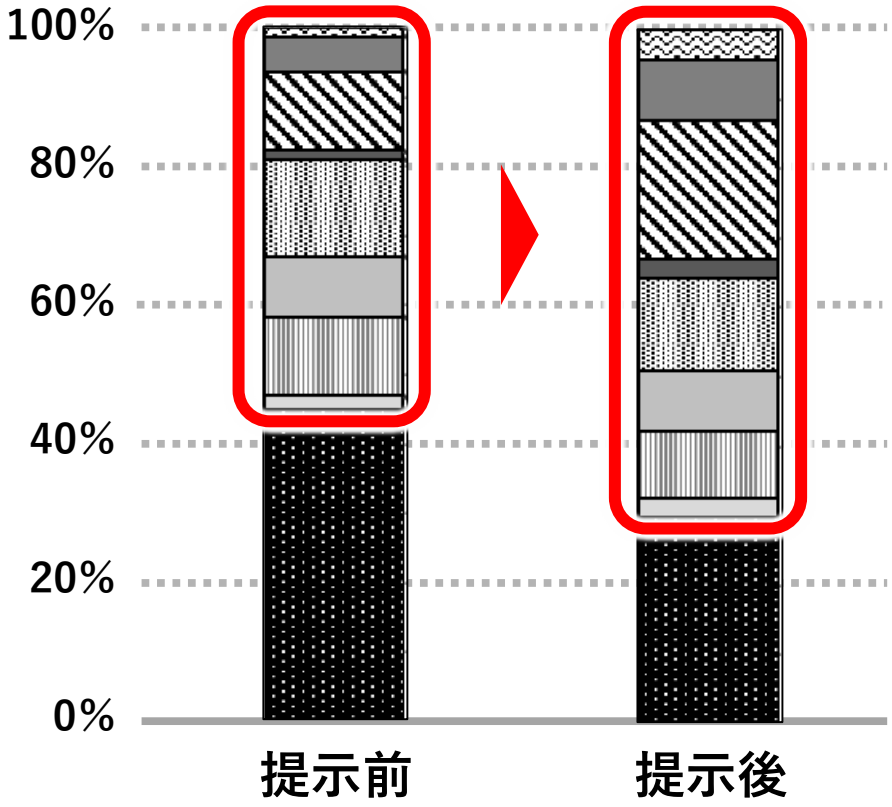
・調査手法：アンケート
・調査手段：インターネット調査
・回答者：宇川地域外在住の 300 人
・調査内容

① でんご山に関する情報を「歴史・景観・整備による効果、里山の機能・活用法・宇川地域にもたらす効果」に分けて提示
② ①のそれぞれの情報に対してどの程度価値があるかを問う。
③ ①のそれぞれの情報に対して実際にイベント等があれば参加したいかを問う。
④ 「地方自立層」と「地方援助層」での評価の違いを測る。

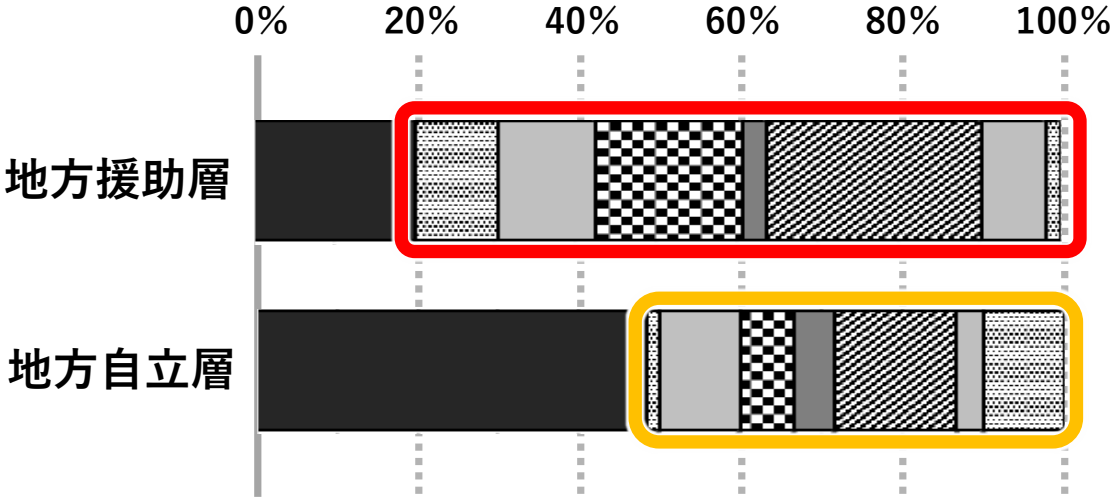
※支払い意思額はでんご山に入る「入園料」とした。

宇川地域外に向けたアプローチ
~CVM的調査の結果~

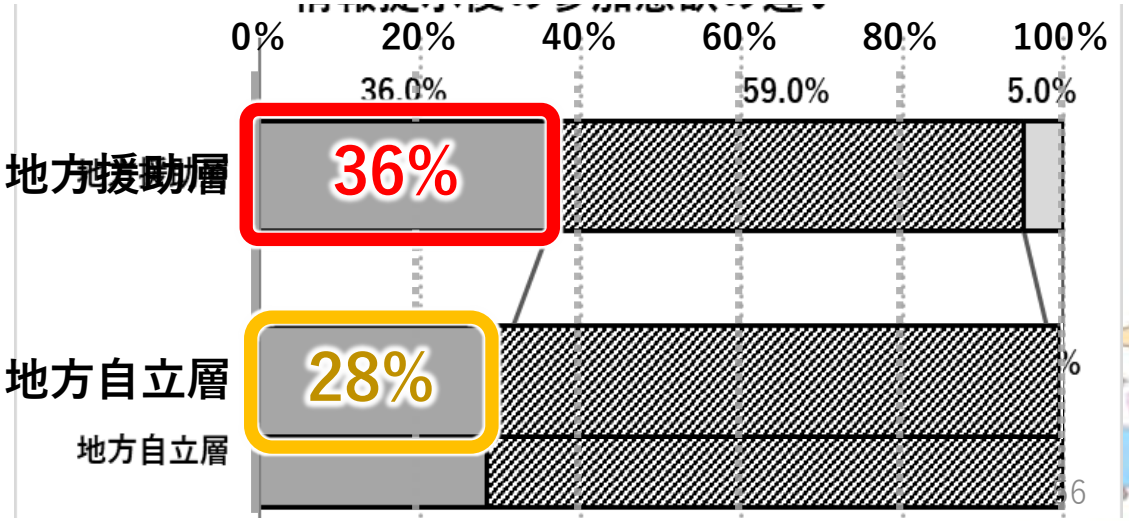
① 情報提示前後の支払い意思額の変化



② 地方援助層と地方自立層の支払い意思額



③ 情報提示後の参加意欲



6章のまとめ

「マーケティングの手法で
地域資源ブランディングを行うことで
担い手を確保することができる」
という**仮説は有効である**

社会実験Ⅰ

6

社会実験

調査の手法

問題の認識
宇川地域の現地調査
KJ法

問題の構造化
連関図法

現状把握と可能性の認識
でんご山の実態調査
資料調査
ヒアリング
現地調査

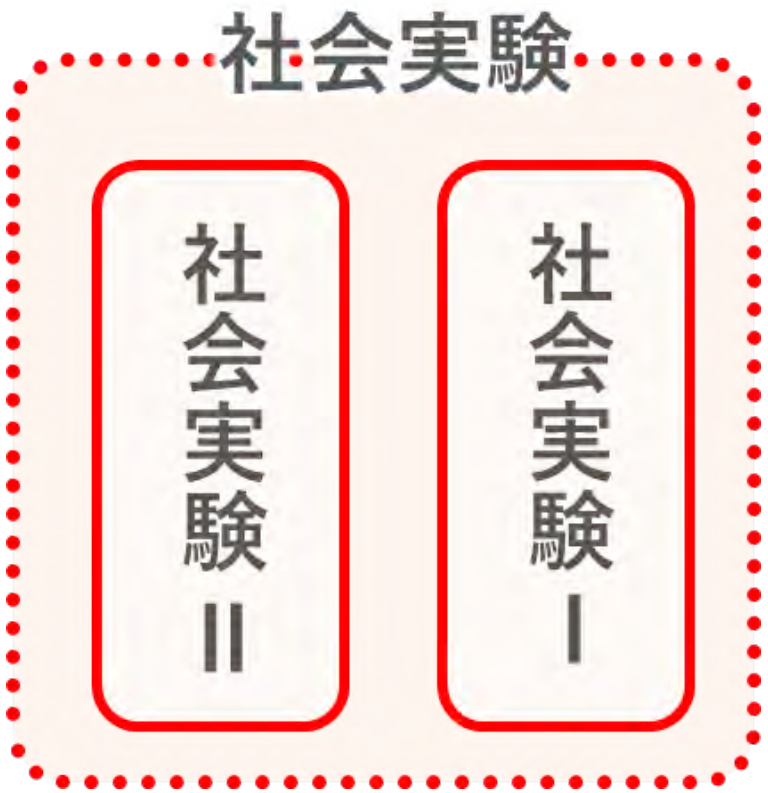
先行研究とアプローチの特定
文献調査
仮説設定

仮説の有効性検証
地域内：半構造化インタビュー
地域外：CVM調査

社会実験
社会実験Ⅰ
社会実験Ⅱ

今後の展望と課題

調査の手法

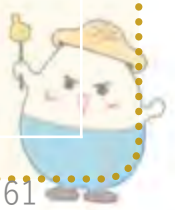


宇川地域での仮説の有効性を
社会実験によって検証

社会実験Ⅰ

社会実験Ⅰ　概要

実施目的	体験型イベントを行い「マーケティングを通じた地域資源ブランディング」の効果を確認する
日時	2023年10月14日(土) 10:30～
内容	• 山登り前に以前よりでんご山に関わっていた宇川地域住民からの山についての知識をレクチャー • 中間展望スポットにて景色を楽しむ • 頂上にてコーヒーを飲んで休憩、ベンチとブランコの製作 • イベントの前後において、目的にある効果を確認するアンケートを実施



社会実験Ⅰ　～広報～

チラシ

・宇川地域
全戸配布(505戸)

・会合での配布

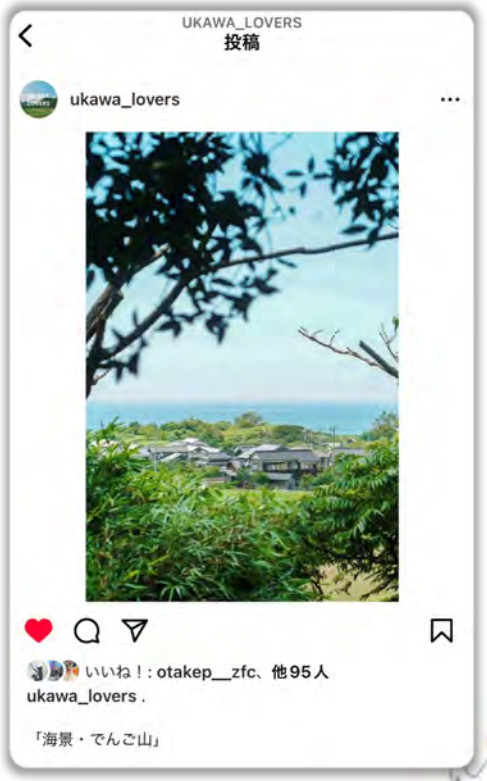
・宇川温泉、
金曜市での配架

社会実験Ⅰチラシ

SNSでの発信

・Instagram
① 今里ゼミ公式
（フォロワー:456人）
② UKAWA
LOVERS
（フォロワー:1,073人）

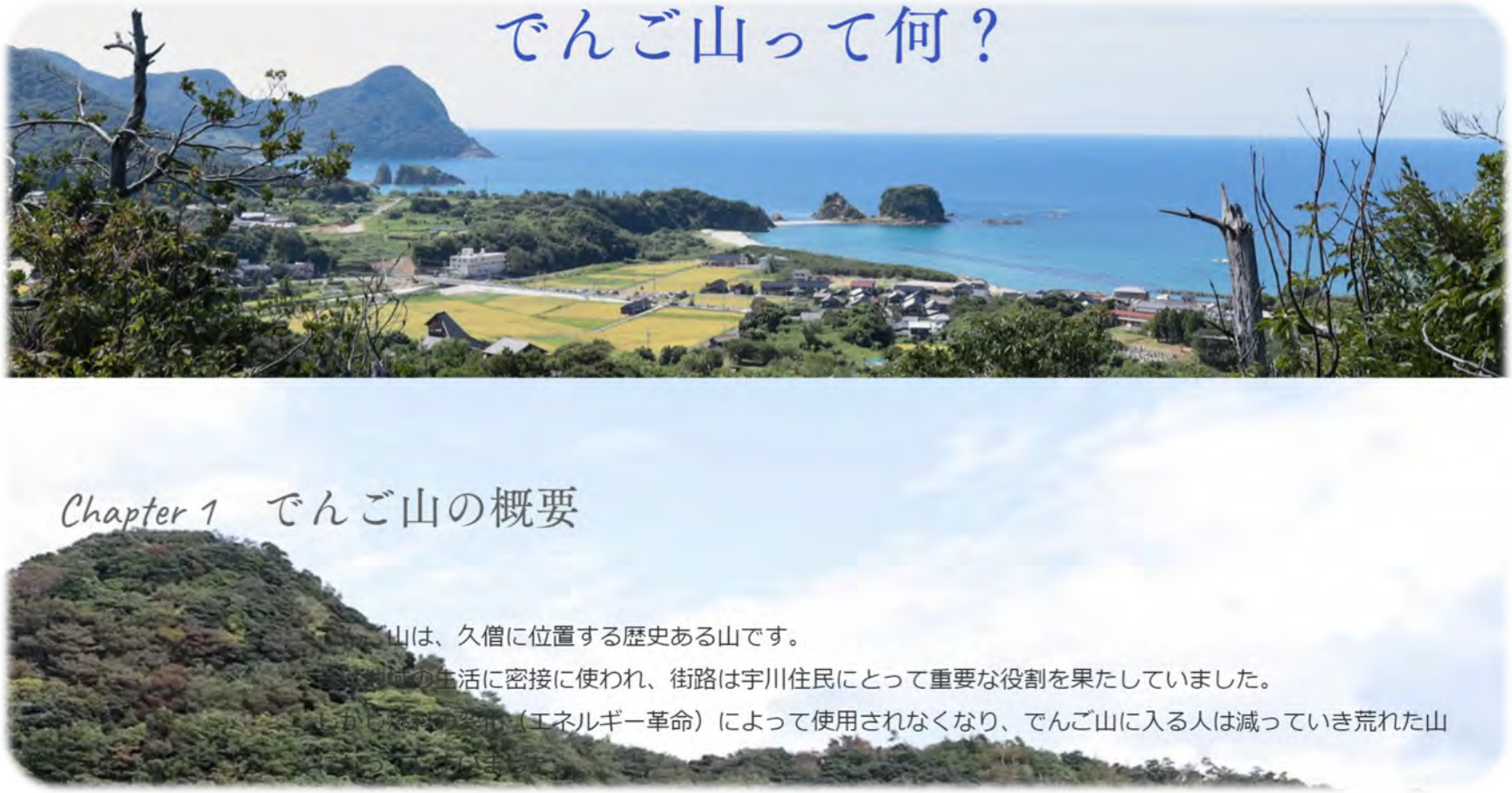
・Facebook
① 今里ゼミ公式
（フォロワー:226人）



UKAWALOVERS

社会実験Ⅰ　～広報～

今里ゼミHP



今里ゼミHP

社会実験Ⅰ ～イベントの結果～

計10名が参加

- 宇川住民：8名
- 宇川地域外住民：2名

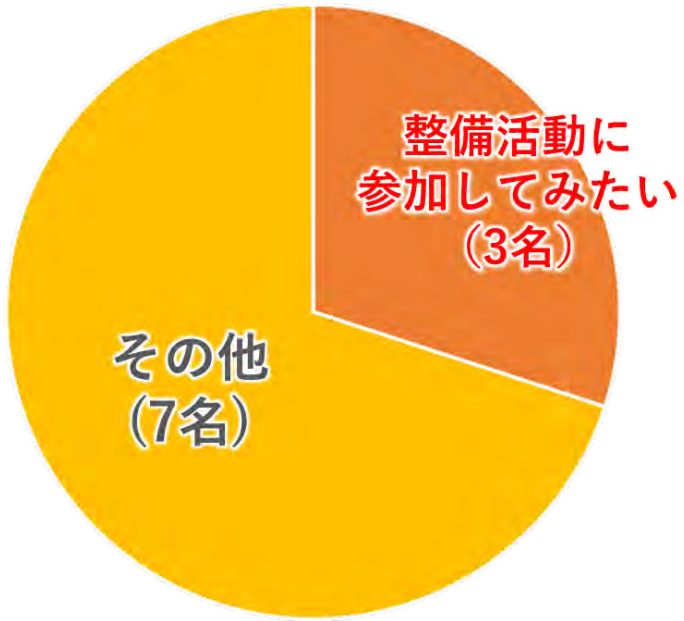
社会実験Ⅰでのブランコ作成の様子

- かつてのでんご山の様子や体験について話す様子が見られた
- イベントで整備して見えるようになった景色を実際に目にした参加者からは「これはすごい」「とても綺麗」という声が上がった

社会実験Ⅰ ～アンケート結果より～

①次回イベントも参加したいか

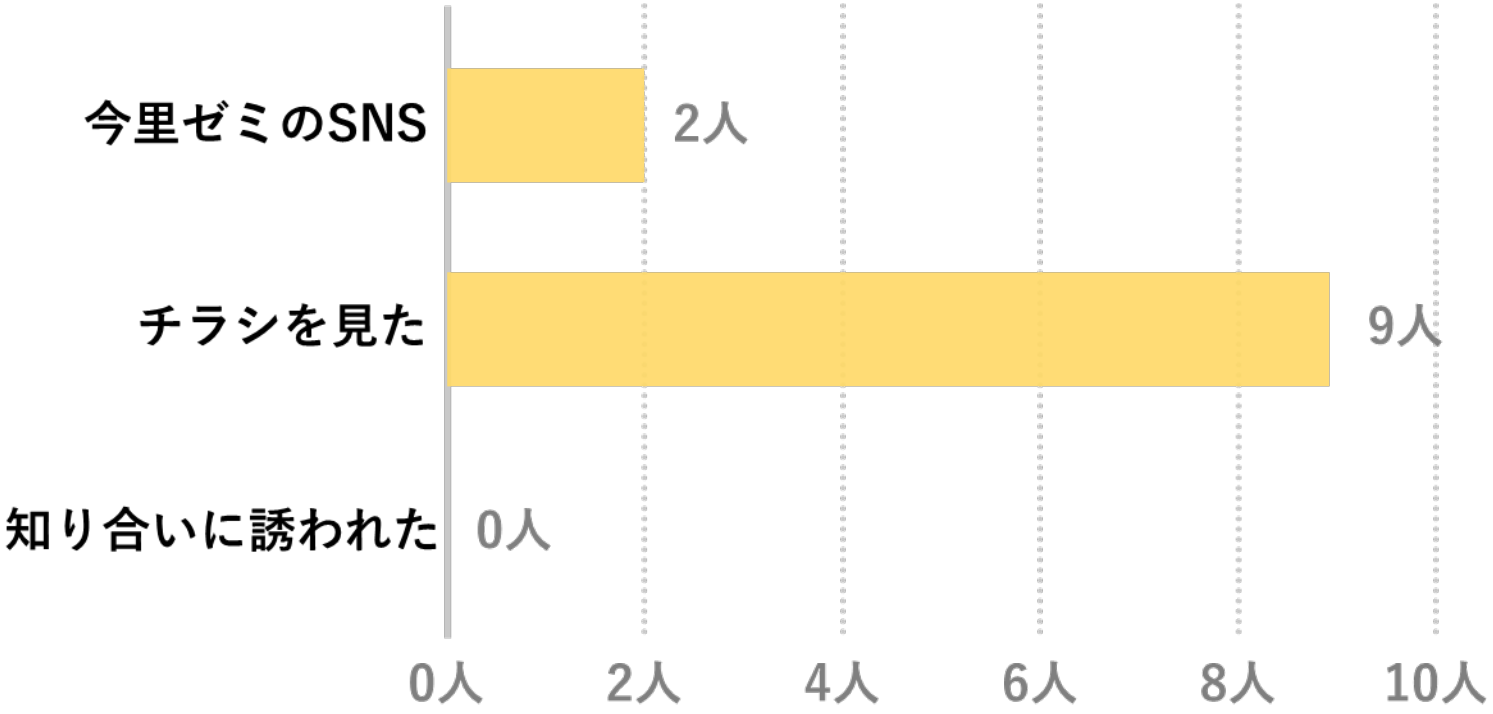
②イベントを通して感じたこと



参加者が今後も増えていくこと担い手となり得る人がいることが確認できた

社会実験Ⅰ ～アンケート結果より～

③参加のきっかけは何か？(複数回答可)



ほとんどの参加者が
チラシを見て参加

**チラシを用いた
宇川地域内への
情報発信は有効**

社会実験Ⅰ ～課題～

地域内

地域内からの参加者は久僧区の住民とその周辺の住民が多く、**でんご山をよく知らない人の参加は得られなかった**

地域外

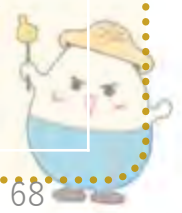
SNSやHPでの情報発信を行ったが、**地域外からの参加者はほとんど得られなかった**

地域内外への情報発信を強化し、より積極的な働きかけが必要

社会実験Ⅱ

社会実験Ⅱ　概要

実施目的	社会実験Ⅰで見えた課題を踏まえた情報発信を行った体験型イベントによって、「マーケティングを通じた地域資源ブランディング」の効果を確認する
日時	2023年11月23日(木・祝) 11:00～
内容	• 宇川住民によるでんご山の説明 • 山頂で景色を楽しみながら昼食 • 生物観察 • でんご山散策 • イベントの前後において、目的にある効果を確認するアンケートを実施



社会実験Ⅱ　～広報～

地域内・「地方援助層」に向けた情報発信

チラシ

- 宇川地域外の施設に配架
- 京丹後市の観光公社のHPにチラシ掲載
- 地域の小学生へ配布

社会実験Ⅱチラシ

「FMたんご」

- コミュニティ放送局により京丹後市全域に発信

ゼミ生がラジオで発信する様子

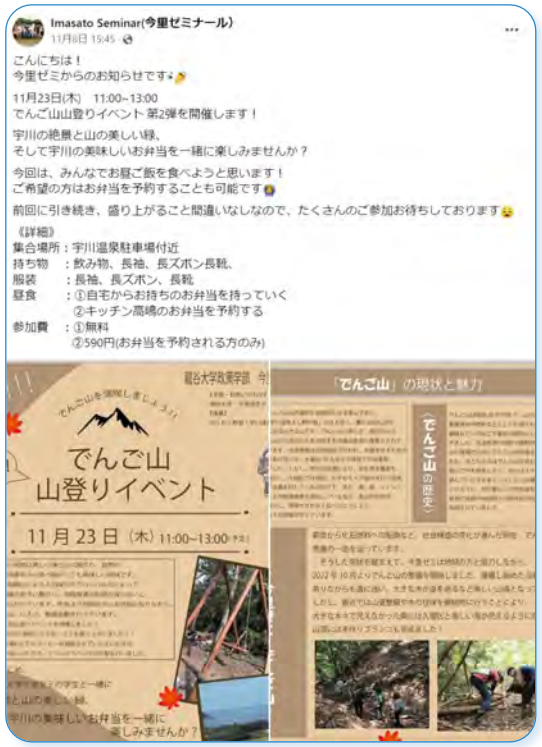
社会実験Ⅱ　～広報～

地域内・「地方援助層」に向けた情報発信

SNSでの発信

Facebook

“今里ゼミ
公式アカウント”
での発信



今里ゼミ Facebookアカウント

Instagram

“自然交流PJT”
での発信強化

今里ゼミ自然交流プロジェクト
Instagramアカウント

社会実験Ⅱ ～イベントの結果～

計20名が参加

- 宇川住民：18名
  （うち子ども9名）
- 宇川地域外住民：2名

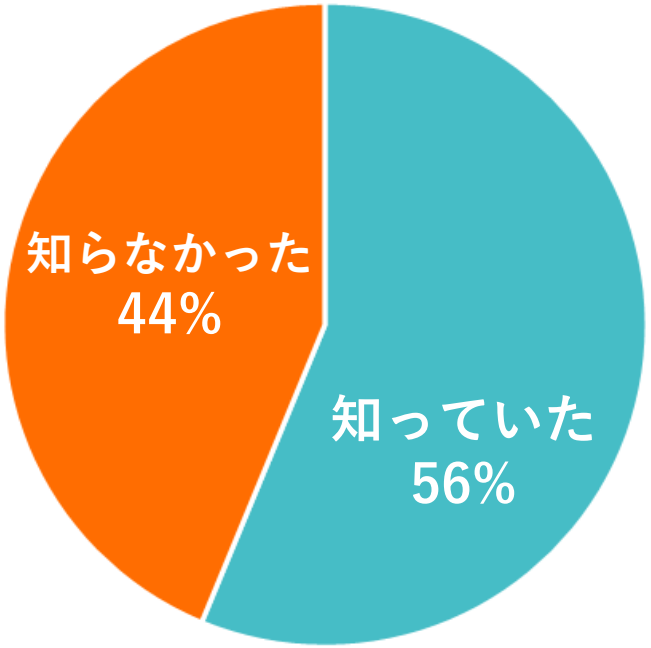
社会実験Ⅱの参加者

- 学生を入れると参加者は50人以上に
- こども向けのネイチャーゲームでは大変な盛り上がりがあった
- 前回のイベントで作成したブランコを多くの参加者が楽しんだ

社会実験Ⅰで作成したブランコで遊ぶ子どもたち

社会実験Ⅱ　～アンケート結果より～

①でんご山を
知っていたか？



でんご山を
知らない人
の参加が多
くあった

②でんご山にまた来たいか？

③でんご山を他者に共有したいか？

共に「はい」の回答が
100％

7

今後の展望と課題

宇川地域の将来像

調査の手法

問題の認識
宇川地域の現地調査
KJ法

問題の構造化
連関図法

現状把握と可能性の認識
でんご山の実態調査
資料調査
ヒアリング
現地調査

先行研究とアプローチの特定
文献調査
仮説設定

仮説の有効性検証
地域内：半構造化インタビュー
地域外：CVM調査

社会実験
社会実験Ⅰ
社会実験Ⅱ

今後の展望と課題

でんご山のブランディング ~でんご山の今後の維持・管理~

社会実験より

でんご山で地域資源マーケティングを行い、参加者を集め、整備活動を実施することで、でんご山に対する価値認識が高まることを確認

今後も地域資源ブランディングを行い
担い手を集めていくために、
「でんご山保全会」を創設する

でんご山のブランディング ~でんご山の今後の維持・管理~

「でんご山保全会」 団体概要

組織形態	任意団体
主な活動内容	①　でんご山整備活動の企画 ・・・でんご山どこを整備するのか、日程などを決める ②　情報発信 ・・・活動の周知、チラシなどを通してでんご山の価値を広報 ③　周辺地域資源との連携 ・・・宇川温泉や野の田んぼなどとの連携企画を実施
担い手	整備活動に来ている人の中で、活動に参加することででんご山の価値を感じた人が担い手として保存会に加わる。 保存会に加わることで、①～③の活動内容のいずれかの担い手となる。

2024年3月にでんご山整備＆でんご山にある大溝水路の掃除を実施予定

でんご山のブランディング ~でんご山周辺の地域資源利活用への発展~

でんご山×宇川温泉

でんご山
整備活動

▼

温泉に入る

**位置関係に
価値を見出す**

宇川温泉 よし野の里HP

でんご山×野の田んぼ

でんご山の整備

＝

稲作に良い影響

**機能的関係に
価値を見出す**

今里田とでんご山

▼

でんご山とその周辺が連携して体験型観光拠点として
新たなブランドを形成できる

今里田とでんご山

8

おわりに

おわりに

宇川ブランディング

宇川全体のブランド

地域資源ブランドを
使ったマーケティング

経が岬灯台
ブランディング

経ヶ岬灯台

宇川温泉
ブランディング

宇川温泉 よし野の里

でんご山
ブランディング

でんご山からの景色

海水浴場
ブランディング

中浜海水浴場

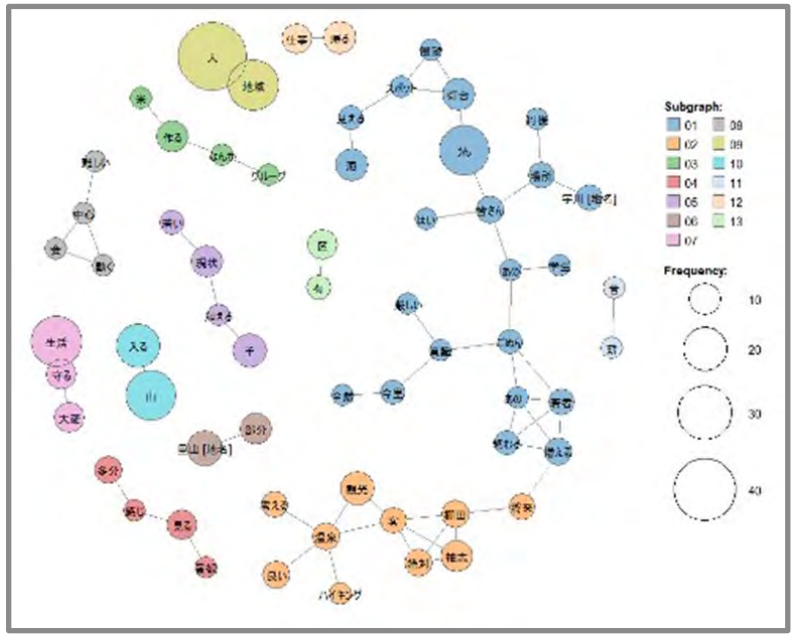
袖志の棚田
ブランディング

袖志の棚田

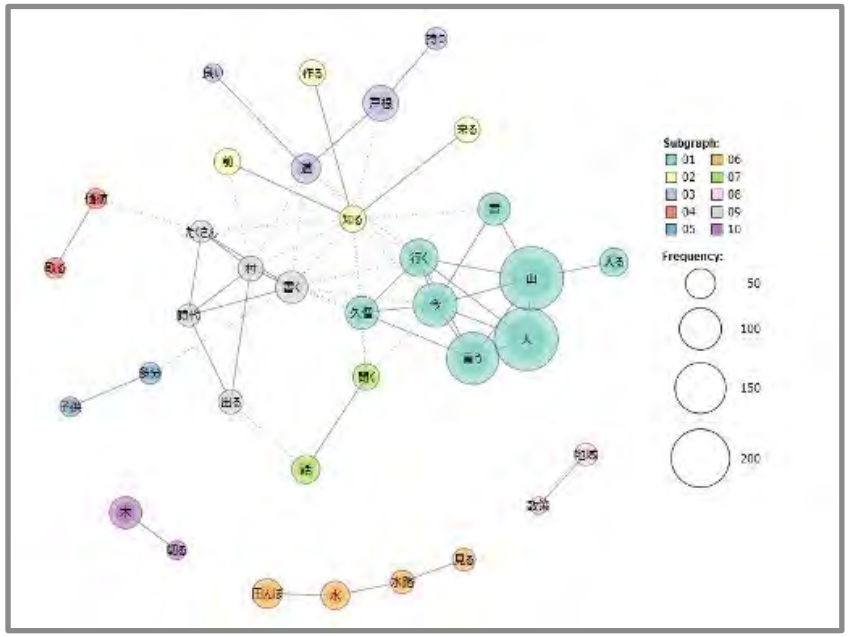
地域資源で一つひとつの「地域資源ブランド」を形成することで
「宇川地域全体のブランド」形成が可能に

参考資料

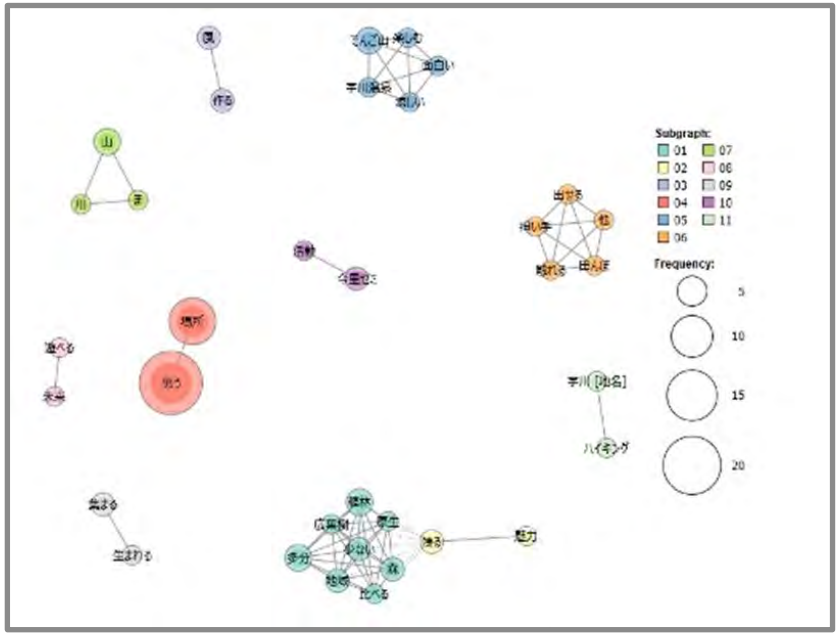
半構造化インタビュー内容をテキストマイニングを用いて分析(KH Coder 3 Folderを使用)



でんご山をよく知る人



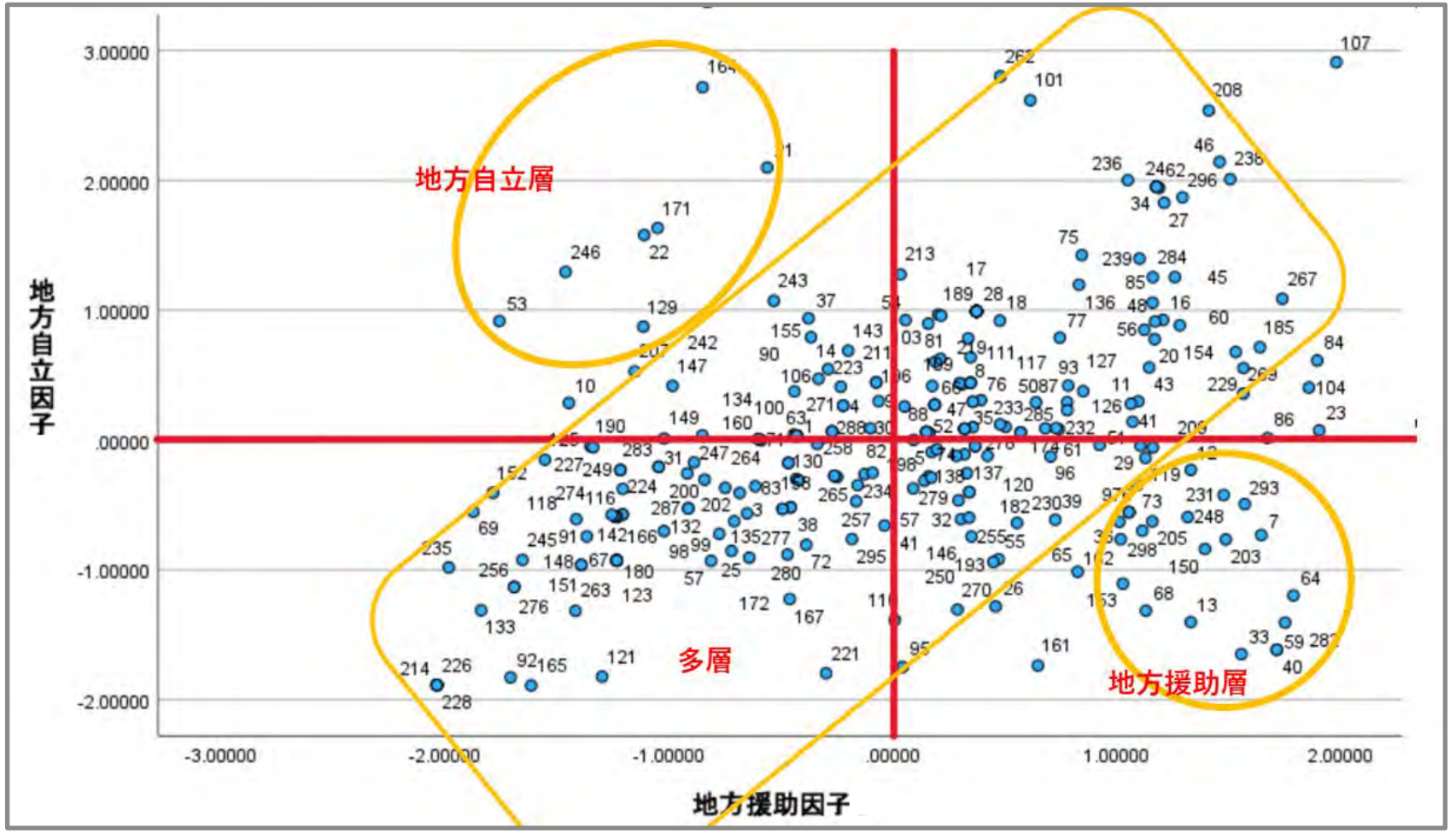
でんご山をよく知らない人



でんご山をよく知らない人
（移住者）

参考資料

地方援助層と地方自立層を因子分析とクラスター分析で抽出(統計ソフトSPSSを使用)



※0.1%水準で有意

自然・交流プロジェクト
活動報告

3回生　安野菜月　田村勝哉　谷口汐里　林和真

2回生　槌野壮太　中井風花　大倉真美　藤原仁弥　池上友貴

目次

1.活動目標

2.わくわく教室について

3.里山コミュニティプロジェクト

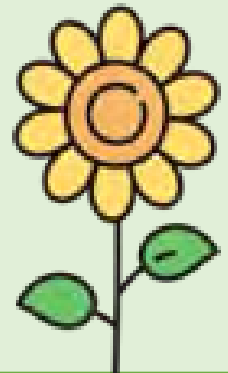
4. 1年間の活動を終えて

活動目標

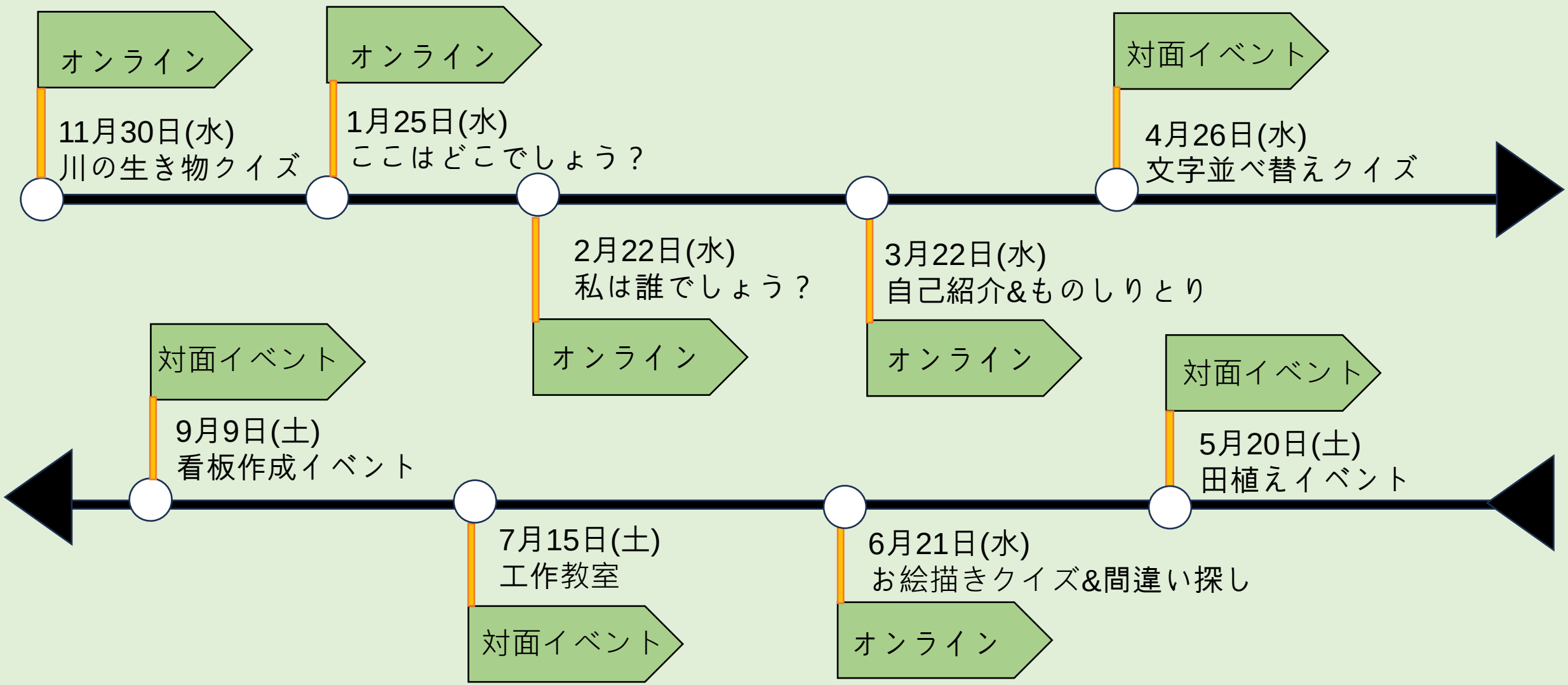
宇川にある豊かな自然資源を活かし、
『**ひと×ひと・ひと×自然**』のつながりを構築する。
➡地域の方々×子どもたち×私たち学生×自然のつながり

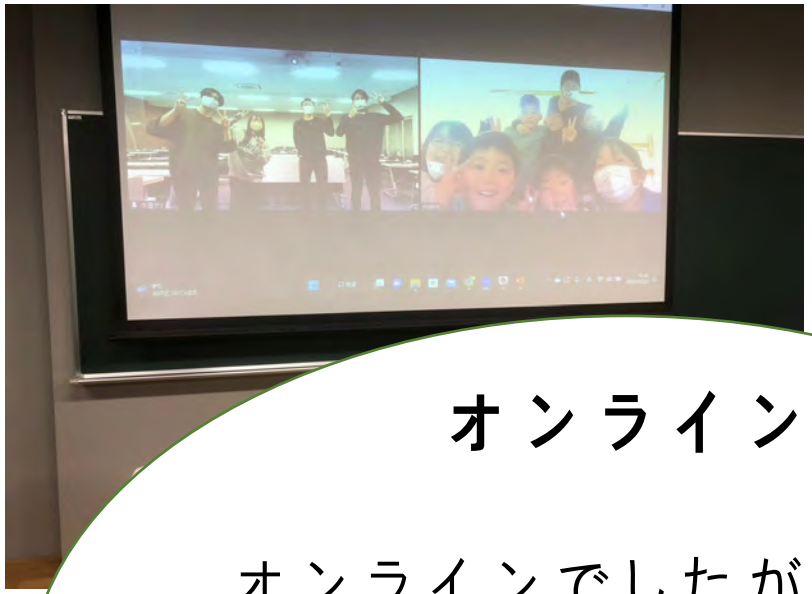
・わくわく教室
- 宇川小学校の子どもたちとの交流 -

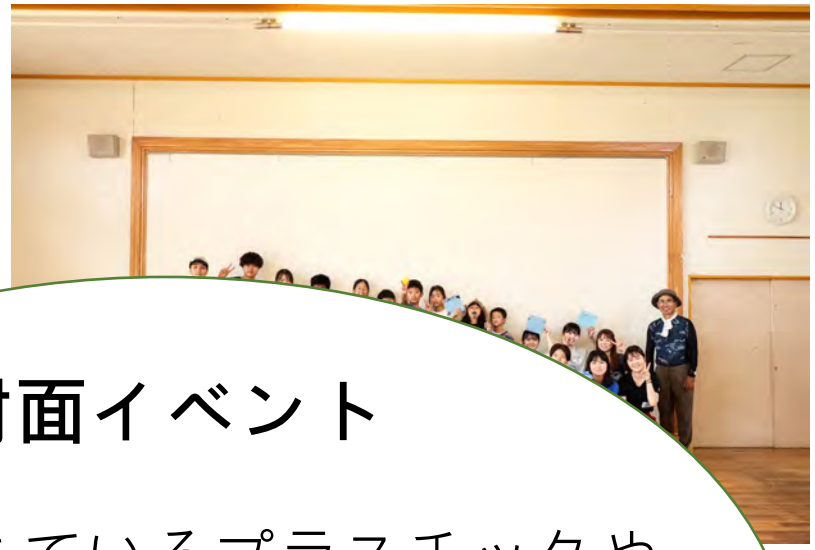
・里山コミュニティプロジェクト
- 宇川温泉の裏山を活用した取り組み -



わくわく教室
イベントスケジュール





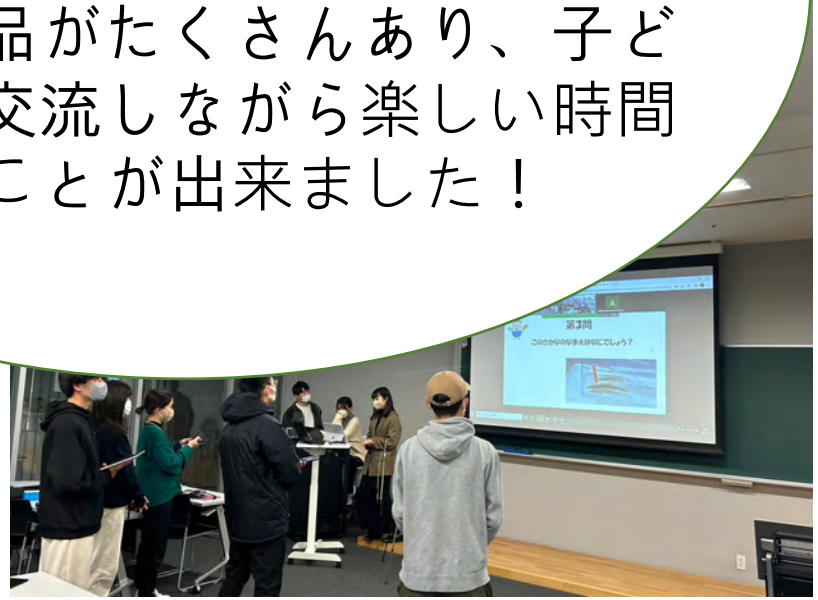


オンライン

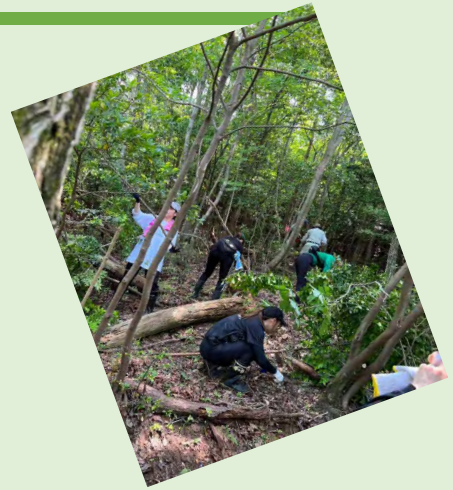
オンラインでしたがたくさんの子どもたちが参加してくれ、Zoomならではのゲームやクイズなど子どもたちと交流を深めることが出来ました！

対面イベント

海辺に落ちているプラスチックや山にある木の実を使用した個性あふれる作品がたくさんあり、子どもたちと交流しながら楽しい時間を過ごすことが出来ました！



里山コミュニティプロジェクト
inでんご山

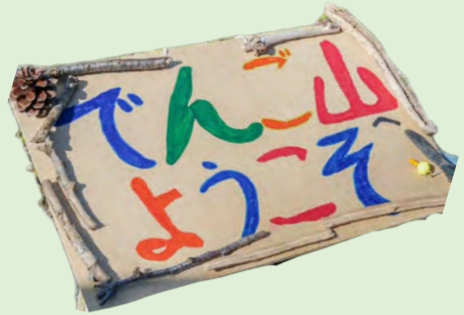


場所：宇川温泉裏に位置する山

内容：でんご山散策、山道整備、
階段作製、木の伐採、イベントの実施

2022年10月28日に整備活動スタート！
これまで**計13回**整備活動を実施。

子どもたちが看板を
作ってくれました☆



イベントの開催

2023年10月14日(土)
第1回　でんご山山登りイベント

2023年11月23日(木)
第2回　でんご山山登りイベント

きょうの
お弁当

1年間の活動を終えて

まずは、1年間本当にありがとうございました！

様々な場面で地域の方と対面で交流させて頂ける機会が多くあり、私たちがわくわく教室や里山コミュニティプロジェクトなど様々な活動を進めることが出来たのは、地域の方々のご協力があったからこそだと強く強く感じています。

わくわく教室、里山コミュニティプロジェクトの活動を通して、宇川地域の新たな魅力発見やたくさんの学びがあり、私たち自身も本当に貴重な経験をさせて頂きました。

宇川地域の皆様と出会うことが出来、本当に嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

9期生メンバー紹介

メンバー5人で楽しく活動していきます！
今年度もよろしくお願いします！！！

プロジェクトリーダー

槌野壮太(つちのそうた)

副プロジェクトリーダー

中井風花(なかいふうか)

大倉真美(おおくらまみ)

藤村仁弥(ふじむらひとや)

池上友貴(いけがみともき)

2023年度

今里田プロジェクト
活動報告

３回生：田中凜　内山彩奈　山下栞　木下琴音　竹嶋大登

２回生：吉岡優　山口雄生　田上愛咲　谷田孝大朗

活動目標

「食を通じて宇川の魅力を発信する」

目次

01　お米・野菜づくり

02　カレー・お米・梅ジャム販売

03　なないろマルシェ

04　商品開発

05　今後について

お米づくり　@今里田

３月　苗床づくり

５月　田植え

９月　稲刈り

１０月　脱穀

野菜づくり　@今里田

玉ねぎ

ゼミ生みんなで！

じゃがいも

02　カレー・お米・梅ジャム販売

カレー缶

〇山のみえるジビエカレー

〇海のみえる鯖カレー

- 宇川温泉・てんきてんき・龍大生協・マルシェでの販売
- ふるさと納税サイトへの掲載
- 全国まちづくりカレッジにて鯖カレー120食完売
- illustratorを使った新たなPOPの作成

02　カレー・お米・梅ジャム販売

今里米

・龍谷大学生協・ないろマルシェにて販売

・illustratorを使ってラベル・POPをデザイン

梅ジャム

〇宇川で育った
　陽だまり完熟梅ジャム

〇宇川で育った
　甘酸っぱい完熟梅ジャム

・酒井さんの梅を今年も購入
・宇川加工所をお借りして製造
・今年は昨年の２倍の量を製造！
・宇川温泉・てんきてんき・マルシェ・龍大生協で販売
・梅ジャムの食べ方を記載した冊子の作成やPOPの作成

02　カレー・お米・梅ジャム販売

梅ジャム冊子

京丹後 宇川

京都府の最北端に位置する京丹後市宇川地区は
人口約1,000人ほどの小さな地域で
広大な日本海と、青々とした山に恵まれた
自然豊かな場所です。

丹後の海を一望できる「経ヶ岬灯台」や
日本の棚田百選に選ばれた「袖志の棚田」
疲れを癒す「宇川温泉よし野の里」
などの観光スポットがあります。

龍谷大学 政策学部今里ゼミナール

RYUKOKU UNIVERSITY

〒612-8577
京都府京都市伏見区深草塚本町 67
mail：imasato.seminar@gmail.com

Instagram
@imasatoseminar

Facebook
Imasato Seminar

龍谷大学 今里ゼミ
ホームページ

ご意見・ご感想は
こちらへ！

Ukawa
JAM

京丹後　宇川

梅

宇川で育った
陽だまり完熟梅ジャム

三温糖を使い
コクのある優しい甘さ
に仕上げています。

宇川で育った
甘酸っぱい完熟梅ジャム

砂糖の量を抑えることで
さっぱりとした甘酸っぱい
仕上がりになっています。

京丹後宇川で
育った梅を
ひとつひとつ皮を剥き
お砂糖と一緒に
じっくり煮込んだ
手作りの梅ジャムです

おいしい食べ方

トーストに塗って
定番を楽しんで

クラッカーに
クリームチーズと
一緒に乗せて おやつに

炭酸水で割って
さわやか梅ソーダに

なないろマルシェ

5月

@龍谷大学深草キャンパス付近

6月

11月

@伏見稲荷大社前

沢山の方が立ち寄ってくれました！

「宇川加工所おしながき」

kyotango ukawa

宇川加工所のおしながき

宇川加工所では、ピンクのＴシャツを着た「ピンクのおばちゃん」たちが
地元の素材を使って手作りの商品を販売しています

はったい粉

宇川産のお米から作られたはったい粉。
ビタミン・ミネラル・食物繊維など
栄養満点です！

はったい粉キャラメル

はったい粉を使ったキャラメルです。
あまくてなめらかな食感がたまりません♪

はったい粉クッキー

はったい粉をを使ったクッキー
栄養たっぷり！おやつにいかがですか？

磯クッキー

きれいな海で育った青のりを使った
クッキー。おからも入って歯ごたえ
も楽しめます！

米ぬかボールクッキー

減農薬のお米の米ぬかたっぷりの
ボールクッキー。栄養のかたまりで
す！

米ぬかケーキ

減農薬のお米の米ぬかを使った
ケーキ。栄養満点のうれしいおや
つです♪

ラベンダー入浴剤

宇川で育ったラベンダーを使った手
作り入浴剤です。疲れたときにいか
がですか？

えごまキムチ

宇川で育ったえごまのキムチ。ピ
リッと辛く、ごはんのお供にぴっ
たり！

えごま味噌

宇川で育ったえごまを使ったみ
そ。そのままごはんと一緒に食
べてもおいしい♪

オープンキャンパスマルシェ

高校生や親御さん達をはじめ、沢山の人に宇川と私たちの活動について知ってもらえる機会に！

8月

9月

はったい粉ラスク

昨年の３月から始めた、はったい粉バターの試作と合わせて34回の試作を重ね、
現在も"はったい粉ラスク"の商品化を目指しています。

今里田プロジェクトに関わってくださった皆様へ

今里田や今里農園、ジャム製造・販売、ななないろマルシェで販売する宇川加工所の商品手配など

本当にお世話になりました。皆様のご協力があって今年も活動をすることができました。

ありがとうございました。

私たちの活動は9期生が引き継ぎますので、

これからもよろしくお願い致します！

今里田プロジェクト8期生　一同

new member

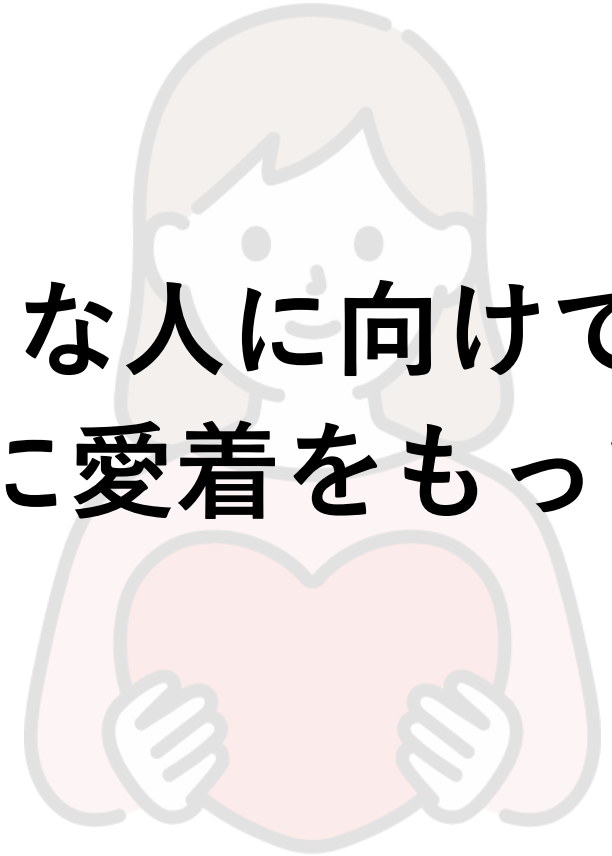
今里ゼミ9期生・今里田PJ

リーダー	よしおか　ゆう 吉岡　優	宇川の皆さんのご期待に応えれるように精一杯 頑張ります！これからよろしくお願いします！！
副リーダー	やまぐち　ゆうき 山口　雄生	
会計	たうえ　あいさ 田上　愛咲	
	たにだ　こうたろう 谷田　孝大朗	

情報発信プロジェクト
活動報告

８期生：酒井結菜　今井健太郎　石浦美苑
９期生：関西なつ芽　長谷川日菜多　坪井優喜　太田迅優

~情報発信PJの活動目標~



地域内外の様々な人に向けて情報発信を行い、
宇川に愛着をもってもらう

目次

➢例年の取り組み

・月報今里　・SNS　・HP

➢今年度の取り組み

・今里ラジオ　・うかわフォトコンテスト

➢この1年を終えて

➢９期生メンバー紹介

私たち

私たちの代で大幅リニューアルをしました！

月報今里

2023.02. 10　　第45号

No.45

龍谷大学今里ゼミナール
京丹後市夢まちづくり大学
（政策企画課内）

月報今里
Monthly Imasato

明けましておめでとうございます。2023年も今里ゼミ宜しくお願い致します。

引継ぎ式

1/27（金）に7期生から8期生への引継ぎ式が行われました。各プロジェクトの活動記録、2022年度の宇川研究の内容などを報告していただきました。ゼミのことはもちろん、3回生を迎えるにあたって、たくさんのアドバイスをしてくださいました。先輩方からのバトンしっかり後輩につなげられるよう、改めて頑張って行きたいと思います。

宇川報告会のお知らせ

2月11日（土）に、
7期生の宇川報告会を行います。
2022年度の今里ゼミの活動や、各プロジェクト活動について報告させていただきます。

14時から16時を予定しております。
よろしくお願い致します！！

8期生です！！

2月より本格的に活動を行っていきます。
8期生14人、一生懸命取り組んでいきますので、宜しくお願い致します！！

執行部	
ゼミ長	：竹嶋　大登
副ゼミ長	：林　和真
副ゼミ長	：木下　琴音
今里田プロジェクトリーダー	：田中　凜
自然交流プロジェクトリーダー	：安野　菜月
情報発信プロジェクトリーダー	：酒井　結菜
合宿班長	：秋野　悟志
	谷口　汐里

旧月報

月報今里
Monthly Imasato

vol. 57

2023. 10. 25 発行

龍谷大学今里ゼミ
京丹後市夢まちづくり大学
（政策企画課内）

うかわ×食

こんにちは。龍谷大学今里ゼミです。
猛暑の時期が過ぎ、気温も少し涼しくなってきましたね。
かなり空いてしまいましたが、今月の月報今里が完成しました。
今回のメインテーマは、「宇川と食」。今里ゼミは宇川で商品開発・販売といった活動をしています。そこに込められている思いや意義について大きくクローズアップしました！

Chapter 1 宇川由来の食べ物たち

～宇川温泉・てんきてんき・灯台・金曜市などで販売中～

食を通じて宇川の魅力を発信！

梅ジャム2種
about
酒井農園で採れた梅と三温糖のみを使った無添加ジャムです。
甘いジャムと甘酸っぱいジャムの2種類があります。

宇川をかけるカレー
about
宇川をかけるカレーは、宇川周辺の食材を利用したカレー。鹿カレーと鯖カレーの二種類があります。
現在もゼミで改良中！

今里米
about
今里米は、手植え、手刈り、稲木干しなど、古くから伝わる手法で作っている完全無農薬米です。毎年、地域の方、子どもたち、学生たちで協力して作っています。

　今里ゼミでは、「持続可能な宇川」の実現に向けて、地域の食材を使った商品の開発に取り組んできました。これらはいずれも、地域の方のアドバイスや協力をもとに作られてきたものです。
　「今里米」は、2015年から久僧の戸根嘉郎さんの田んぼで作ってきた完全無農薬米です。毎年、地域の方たちに教えていただきながら米作りを続けています。
　次に、「宇川をかけるカレー」は、京丹後市の鹿や宇川のさつまいも、今里米などを使ったスパイシーなカレーです。害獣の鹿や猪の活用を考えて、開発しました。
　最後に「宇川梅ジャム」は、宇川の酒井農園の梅を使って2022年から作っているジャムです。このように、ゼミの活動では新商品の開発が積極的に行われています。
　そして、今里ゼミの中でもこの商品開発を担うプロジェクトが「今里田プロジェクト」です。ゼミ、宇川にとって商品開発を行うことにはどんな意義があるのかということを今里田プロジェクトリーダーのりんりんに聞いてみました。

宇川だけの良さ。

Chapter 2 なぜ商品開発？そのワケ

　こんにちは。今里田プロジェクト、リーダーの田中凜です。私たち今里田プロジェクトは、「食を通じて宇川の魅力を発信する」ことを目標に日々活動に取り組んでいます。今回は、学生が商品開発をする意義について考えてみました。これを機に宇川の皆さんに私たちの活動を知っていただくと同時に、改めて自分達の活動を見直し今後の活動に繋げていければと思います。
　まず、商品開発を行う意義として、**学生の視点で宇川の食材を活用できること**が挙げられると思います。私たちの歴代の先輩方は、宇川の獣害問題に着目したカレー缶や酒井農園の梅を使用した梅ジャムなど、課題解決の視点や、宇川の食材の魅力を伝えたいという視点から、商品開発をされてきました。宇川の皆様と交流する中で、リアルな声を拾い、それを受けて商品開発を行うというのは、学生だからこそできることだと考えています。
　また、**地域外での販売や幅広い情報発信が可能となる**ことも学生が商品開発を行う意義として挙げられると思います。様々なイベントに出店したり、各SNSで発信したりすることで、より多くの方に宇川の魅力を知ってもらえるかと思います。
　最近では、**宇川加工所の商品ラベルの作成にも力を入れています。**商品の魅力を伝えるにはどんなデザインが良いか、加工所の方に意見をいただきながら、より良いものを作り上げていきます。商品にとって重要となるラベルの作成に携われる事は、私たちにとっても非常に勉強になることばかりです。
　私たちは、**「より多くの方に宇川の良さを知って欲しい」、「宇川のお土産を作りたい」という想いで商品開発やラベルの作成に取り組んでいます。**私たちの活動が、宇川にとって意味のあるものとなるよう、今後も頑張ります。店頭で今里ゼミの商品を見かけた際は、ぜひお手に取っていただけますと幸いです。（田中凜）

りんりん

7-10月　今里ゼミ 活動近況報告

新メンバー発足！
今里ゼミ9期生

　今年は2回生13人が今里ゼミに9期生として加わり、地域の皆さんと一緒に宇川地域での活動に関わっていくことになりました。
　宇川についての事前学習を経て、実際に合宿に参加し、宇川の魅力や地域の現状について理解を深めてきました。
　宇川地域の住民の方々が、地域を盛り上げていくためのきっかけとなるようなアイデアや取り組みを一緒に考えていき、宇川地域が活性化するための繋ぎ目となる役目になれるよう頑張っていきたいと思っています。（関西なつ芽）

9期生情報発信PJ
なっつー

9期生情報発信PJ
ひなくん

宇川っていいな、と思った点は自然資源の豊かさです。宇川には緑の豊かさも海の豊かさも、すぐ"そこ"にあります。8月の合宿の際、宇川加工所で星空を見ました。宇川で見た空はどこまでも広くて、星の光り方も別格でした。宇川に住まわれている方にとって、あの綺麗な夜空は当たり前なのだと思うと、とても羨ましいです。また、道で声をかけてくださる方もいらっしゃり、宇川に住まわれている皆さんの温かみを感じることも出来ました。
モノを買えるお店が近くにないことや移動手段が限られることは不便ですが、これらをかき消すくらい宇川には魅力が溢れています。私たち2回生はまだ3度しか宇川を訪れていません。しかし、行くたびに皆宇川が好きになっています！（長谷川日菜多）

9期生情報発信PJ
つぼちゃん

私は宇川に合宿に行ってみて、とてもきれいで魅力のある地域であると思うところもあれば、不便であると感じたところもありました。
宇川は自然が豊かであり、空気がおいしいと感じました。周りが海と山で囲まれている地域は全国的にも珍しいと思うし、この魅力が多くの人に伝わって欲しいと思いました。（坪井優喜）

9期生情報発信PJ
じんゆー

自分は家の裏に田んぼがあったり、山に囲まれているような田舎出身なので、宇川地域もあまり変わらないだろうと思っていましたが、想像以上に田舎でした。でも宇川には田舎だからこその魅力が詰まっているなと感じました。
宇川温泉はとても気持ちが良いし、海で見る景色は色んな顔があって綺麗です。（太田迅優）

宇川へ行って感じたコト

これからのイベント in 宇川　宣伝！

「うかわフォトコンテスト開催」

こんにちは！今里ゼミ情報発信プロジェクトです。
私たち情報発信プロジェクトは、SNSを通して地域内外の多くの方に宇川の魅力を発信する活動を日々行っています。広報発信に取り組む中で、宇川の魅力は、SNSで写真としてみてもらうことが一番分かりやすく簡単に伝えられる方法であると考えました。
今回、たくさんの方にご協力いただき、宇川の魅力あふれる写真がたくさん集まりました。この機会に、みなさんで一緒に宇川のいいところ再発見しませんか？会場は宇川アクティブライフハウスです。当日、みなさんのお気に入りの写真に投票をしてもらいます。是非、ご家族、友達と一緒に遊びに来てください！皆様のご来場お待ちしています！

日程：11月12日（日）
場所：宇川アクティブライフハウス

@IMASATOSEMINAR　今里ゼミ
@UKAWA_LOVERS　UKAWA LOVERS
↑Instagramより情報発信中!!

「でんごやま　山登りイベント開催！」

こんにちは！今里ゼミ自然・交流プロジェクトです。
「でんご山散策イベント」を11月にも開催します。
現在「でんご山」を魅力あふれる場所にするため、そしてたくさんの方に足を運んでもらえるような「でんご山」にするため、地域の方のご協力のもと、山道の整備をはじめ宇川の海が一望できるスポットを作っています。宇川地域の皆様にもぜひ「でんご山」に登り、山の美しい緑と宇川の絶景に癒されに行きませんか？山に興味がある方、健康のために山登りをしたい方、山から見える美しい宇川の海が見てみたい方など宇川に住んでおられる方でしたら、どなたでも参加していただけます！！
日程は決まり次第、チラシ等でお知らせいたします。宜しくお願いいたします！

Monthly Imasato　月報今里

新月報

SNS

facebook	投稿回数	約50回
Instagram	投稿回数	約24回 210回（ストーリーズ）
X（旧Twitter）	投稿回数	約8回

今里ゼミホームページ

▶今里ゼミの活動期間が増え、宇川の情報が大幅に増えた為、完全リニューアル

▶お知らせ、ブログ機能でイベント情報も発信

▶観光客の方にも使っていただけるような情報媒体となるよう今後も改良を続けたい

今里ラジオ@FMたんご

SNSを使っていない人にも情報発信したい
自分たちの声で宇川の魅力を伝えたい

FMたんご×今里ゼミ

今里ラジオ　スタート！

〈生放送〉
5月19日

〈収録@fmたんご〉
9月8日

〈コーナー〉
10月ー里山コミュニティPJ×ラジオ
11月ー今里田×ラジオ
12月ー2023年のまとめ

2023年11月12日

うかわフォトコンテスト

「宇川の魅力を写真を通じて再発見する」

▶約100枚ほどの写真を応募していただいた

▶当日、多くの方に参加・投票していただいた

▶ゼミ生としても、写真を通じて新たな宇川の一面を知ることができた

~当日の様子~

@宇川アクティブライフハウス

集まった写真をもとに…

2024フォトカレンダーの制作

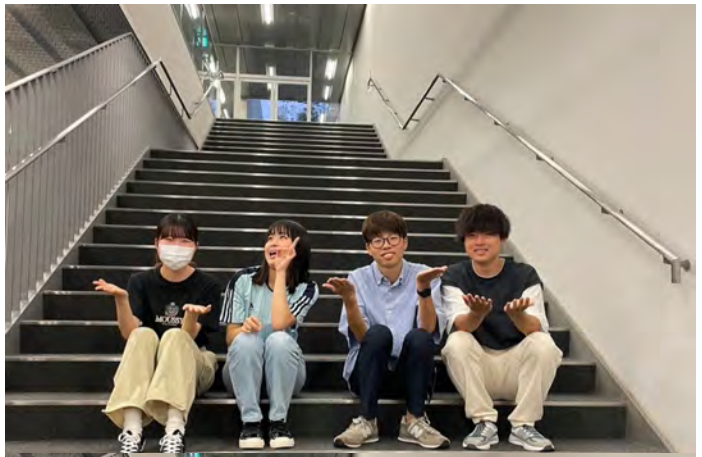
関わってくださった皆様へ

この１年は、月報やホームページをリニューアルしたり、ラジオという新しいことに挑戦したりと、より一層情報発信に力を入れて取り組みました。また、フォトコンテストでは、関わってくださった方と一緒に、宇川の良さを発掘することができ、自分たちにとって貴重な経験となりました。

たくさん、サポートいただき、本当にありがとうございました。

これからも、今里ゼミから様々な場所に向けて宇川の魅力を全力で発信していきますので、よろしくお願いします！

9期生紹介



PJリーダー

関西なつ芽

副PJリーダー

長谷川日菜多

坪井優喜

太田迅優

8期生ゼミ長から

９期生ゼミ長から

今里先生から

ご静聴ありがとうございました